

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5 019	大原社会問題研究所雑誌			
5 019 - 001	329号	環境変動と労働組合の活性化 労働組合の「活性化」をめぐる 1) 600万総評推進委員会報告骨子 2) 商業労連『21世紀型労働運動へのシナリオ』 3) 商業労連・連帯労働組合に関する資料 4) 電機労連の技術・研究労働者交流集会に関する資料 5) 労働組合の活動日・組織化に関する労働省調査 The Evolution of Labor Relations in japan Andrew Gordon	大田隆雄、豊田守、石原昌隆、渡辺邦人 早川征一郎	1986.4 " " " " " "
5 019 - 002	330号	労働組合組織率の再検討 イギリスの炭鉱争議(9) 産別会議研究会ヒアリング 細谷松太氏に聞く(3) 日本の労使関係の特質に関する文献目録 【書評】藤本武著『資本主義と労働者階級』	二村一夫 早川征一郎	1986.5 " " " "
5 019 - 003	331号	HUMANIZATION OF WORK IN JAPAN 産別会議の成立過程(2) 国鉄ローカル線存続運動と労働組合	Manabu MINE 吉田健二 山本補将	1986.6 " "
5 019 - 004	332号	高齢化社会の産業構造・労働力展望 現代社会問題研究の課題と方法 加藤哲郎『国家論のルネサンス』について 組合史、労働争議・闘争記録所蔵目録(10) 〈社会・労働関係資料センター連絡協議会〉の発足について大原社会問題研究所移転・開所記念見学会と記念レセプション	小林謙一 梅田俊英 五十嵐仁 是枝洋	1986.7 " " " "
5 019 - 005	333号	日本における公務員賃金決定の特徴 【特集】 公務員の賃金決定問題 1) 欧米諸国における公務員賃金決定制度 2) 人事院給与勧告の実施状況等 3) 新・旧行政職俸給表(一)	早川征一郎 林博男 松井朗	1986.8 " " "
5 019 - 006	334・335号	高齢者事業団の事例研究 第一部 課題と調査概要 第二部 事例調査報告 〔1〕 シルバー人材センター 〔2〕 高齢者生きがい事業団 〔3〕 中高齢雇用福祉事業団 〔4〕 その他 付属資料(調査マニュアル)	高橋大次郎、大原社会問題研究所、大原社会問題研究所 "	1986.9・10 " " " " " "
5 019 - 007	336号	社会主義政治経済研究所について(1) ソ連邦における人材養成と就職斡旋 産別会議研究会ヒアリング 後藤順一郎氏に聞く 書評 塩田庄兵衛『実録60年安保闘争』	鈴木徹三 原隆 手島繁一	1986.11 " " "
5 018 - 008	337号	企業別組合の組合費と財政 55年体制下の国政選挙と同日選挙 社会主義政治経済研究所について(2) 長谷川如是閑と大山郁夫	岩崎馨 五十嵐仁 鈴木徹三 高橋彦博	1986.12 " " "

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5 019 - 009	338号 【特集】安全衛生に 関するILO基準と その適用をめぐって	安全・健康に関するILO基準と日本の対応	嶺学	1987.1
		安全衛生条約と労働安全衛生法	長峰登記夫	〃
		内部責任システムと就業拒否権	嶺学	〃
		ILO: Conditions of Work Digest	後藤光祥	〃
5 019 - 010	339号	戦後民主主義と地域住民	平田哲男	1987.2
		国家公務員の賃金決定過程(2)	林博男	〃
		産別会議研究会ヒアリング 吉田資治氏に聞く(上)		〃
5 019 - 011	340号	産業再編と経営政策(1)——M造船:1961~63年	上田修	1987.3
		印刷業における労働移動	工藤正	〃
		高齢者事業団の事例研究(続)	高齢化社会研究会	〃
		産別会議研究会ヒアリング 吉田資治氏に聞く(下)——産別会議と民同運動		〃
5 019 - 012	341号	戦後日本の雇用問題について——研究史整理の試み	山本潔	1987.4
		産業再編と経営政策(2)——M造船:1961~63年	上田修	〃
		埼玉県労働運動史研究会『東洋時計上尾工場争議』	吉田健二	〃
		国鉄「分割・民営化」問題文献目録(1)		〃
5 019 - 013	342号	労働運動史と憲政史の接点——1930年代のある経験	高橋彦博	1978.5
		片山首班連立内閣の成立前後	鈴木徹三	〃
		高齢期における同別居問題の多様性とその課題	野田陽子	〃
		東京大学社会科学研究所所蔵社会・労働関係マイクロ資料について	塚越つた子	〃
		国鉄「分割・民営化」問題文献目録(2)		〃
5 019 - 014	343号 【公開シンポジウム】 情報化の進展と 組織・仕事	シンポジウムの目的	嶺学	1978.6
		情報ネットワーク化と組織の変化	小山周三	〃
		情報化の進展と卸売業の変化	鎌田東八郎	〃
		企業内情報システムと職場・仕事	八幡成美	〃
		シンポジウムのまとめ	嶺学	〃
		企業内情報システムと職場・仕事		〃
5 019 - 015	344号 【特集】 87年春闘 妥結と総括	87年春闘の特徴と総括	早川征一郎	1987.7
		資料I 87年春闘妥結結果		〃
		資料II 87年春闘総括		〃
		統一運動同盟の生成	梅田俊英	〃
		日本労働年鑑関連資料 第11回統一地方選挙の結果について(1)——首長選挙	五十嵐仁	〃
5 019 - 016	345・346号	【高齢者事業団会員アンケート調査報告】		1987.8・9
		まえがき		〃
		序章 高齢者事業団会員へのアプローチ		〃
		第1章 会員のプロフィール		〃
		第2章 会員としての就業と活動		〃
		第3章 会員としての満足感と事業団への要望		〃
		終章 会員の意識と行動		〃
5 019 - 017	347号 【特集】 労働組合 組織論の再検討	日本における職能的労働組合の可能性	木下武男	1987.10
		運輸・一般労働者組合の源流と成立(上)——合同過程と組織論を中心に	浅見和彦	〃
		■高齢者事業団会員アンケート調査報告(続)		〃
		(1) 高齢者事業団調査報告リスト		〃
		(2) 高齢者事業団会員アンケート調査票		〃
		(3) 高齢者事業団別集計結果		〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5 019 - 018	348号 【特集】 続・労働組合 組織論の再検討	産業別個人加盟労組運動の経験——全金品川地域支部の事例	長谷川義和	1987.11
		運輸・一般労働者組合の源流と成立(下)——合同過程と組織論を中心に	浅見和彦	〃
		労働組合組織に関する文献目録		〃
		Safety and Health in Japan(1)--Administration and Worker Participation	Manabu Mine	〃
5 019 - 019	349号	日中戦争期の労働者	荒川章二	1987.12
		Safety and Health in Japan(2)--Administration and Worker Participation	Manabu Mine	〃
		■日本労働年鑑関連資料 第11回統一地方選挙の結果について(2)——各級議会議員選挙	五十嵐仁	〃
		【書評】桜井絹江『母性保護運動史』	白崎淳一郎	〃
5 019 - 020	350号	企業間競争と〈職場社会〉(1)——M造船N造船所:1962~63年	上田修	1988.1
		総評の「平和経済」運動——1953~54年	佐伯哲朗	〃
		産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く(1)		〃
		労働関係調査資料の紹介(1) 企業グループ内労働力移動の現状	佐藤博樹	〃
5 019 - 021	351号 【特集】 労働争議の研究	労働争議史研究の方法について	山本潔	1988.2
		東洋時計上尾工場争議の経過と問題点	池田信	〃
		労働運動史文献目録 1983年(1)	是枝洋・小島英恵	〃
		【書評】ヒラリー・ウェインライト/デイヴ・エリオット『ルーカス・プラン』	平井陽一	〃
		労働関係調査資料の紹介(2) 〈組合戦略〉とユニオン・リーダー	佐藤博樹	〃
5 019 - 022	352号 【国際労働シンポジウム】 ILOと技術協力 日本はどう関わるのか	シンポジウムの趣旨	嶺学	1988.3
		日本の対外協力	絵所秀紀	〃
		日本の技術協力	梅谷俊一郎	〃
		ILOの技術協力	岩田照良	〃
		労働分野における日本の技術協力	松原亘子	〃
		コメント		〃
		討論における諸論点 シンポジウムを終えて		〃
		ILOの技術協力との関わり	嶺学	〃
		参考資料: ILOと技術協力-1987年ILO総会討議について		〃
		【書評】『事典日本労働組合運動史』	佐伯哲朗	〃
		労働関係調査資料の紹介(3) 女性の就業構造と就業意識	佐藤博樹	〃
5 019 - 023	353号 【特集】 戦間期の ヨーロッパ労働運動	ドイツ革命期における経営協議会と労働組合——ベルリン金属工の場合	相馬保夫	1988.4
		フランス社会党におけるプランニスムとプラン論争——1933~34年	佐伯哲朗	〃
		労働運動史文献目録 1983年(2)	是枝洋・小島英恵	〃
		【書評】小越洋之助『日本最低賃金制史研究』	相沢与一	〃
		労働関係調査資料の紹介(4) 働く人びとの職業意識の変化	佐藤博樹	〃
5 019 - 024	354号	社会-技術システム論による組織デザインの方法について	近藤隆雄	1988.5
		企業間競争と〈職場社会〉(2)——M造船N造船所:1962~63年	上田修	〃
		産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く(2)——三菱重工下丸子労組の結成と活動		〃
		労働運動史文献目録 1983年(3)	是枝洋・小島英恵	〃
		【書評】渡辺治『現代日本の支配構造分析』	梅田俊英	〃
		労働関係調査資料の紹介(5) 学生アルバイトの就業実態と就業意識	佐藤博樹	〃
5 019 - 025	355号	中小工業不振と労働運動——川口鋳物業労働運動の場合	池田信	1988.6
		フィリピンの工業化と労資関係——輸出加工区の分析を中心に 小林英夫	小林英夫	〃
		アジアの女子労働問題	塩沢美代子	〃
		産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く(3)——三菱重工下丸子労組の結成と活動		〃
		日本労働年鑑関連資料 売上税粉砕闘争・国家秘密法反対運動の記録——社会運動詳細日誌	手島繁一	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		労働関係調査資料の紹介(6) 海外現地生産の国内雇用への影響	佐藤博樹	〃
		【書評】草間八十雄『近代下層民衆生活誌』(全3巻)	荒川章二	〃
5019 - 026	356号	地方労働運動史研究の現状	荒川章二	1988.7
	【特集】	地方農民運動史研究の現状	横関至	〃
	地方社会運動史	地方無産政党運動史研究の現状	大野節子	〃
	・労働運動史の現状	地方社会運動史研究の現状	梅田俊英	〃
	(その1)一自治体史	本特集で対象とされている都道府県史一覧	古谷暢子	〃
	を中心として	【書評】ズザンヌ・ミラー『戦後ドイツ社会民主党史』、トマス・マイヤー『ドイツ社会民主主義入門』	相馬保夫	〃
		労働関係調査資料の紹介(7) <使用者の利益を代表しない管理職・専門職>の組織化	佐藤博樹	〃
5019 - 027	365号	報告：ILOと安全衛生問題		1989.4
	【国際労働問題	ILOと安全衛生	後藤光祥	〃
	シンポジウム】	安全衛生に関するILO基準と日本の対応	嶺学	〃
	職場における	日本の安全衛生政策	北山宏幸	〃
	安全と健康—	日本における安全衛生と政策	鷺谷徹	〃
	—ILOと日本	コメント：建設業の新しい安全衛生基準		〃
		行政の立場から	北山宏幸	〃
		労働組合の立場から	柴田親宏	〃
		使用者の立場から	加来利一	〃
		質疑応答と討論 参考資料：建設業における安全と健康		〃
		1.安全衛生政策に関するILO条約と勧告		〃
		2.条約・勧告の概要		〃
		3.条約・勧告成立の経過と問題点		〃
		4.労働省の対策		〃
		5.建設業労働災害防止協会の概要		〃
		6.建設業関係労働組合の安全衛生対策		〃
		QWL研究の課題をめぐって アメリカの労使関係とQWL	QWL研究会	〃
5019 - 028	366号	企業内労働市場の変化と終身雇用慣行——雇用保障とキャリア形成をめぐって	佐藤厚	1989.5
		近代主義的労務政策の挫折と現代日本型経営者の登場——O製紙争議に現れた経営者類型	竹田誠	〃
		ドイツ11月革命における炭鉱社会化問題——所有権問題についての社会化委員会の態度を中心に	小林勝	〃
		産別会議研究会ヒアリング 中原淳吉氏に聞く(2)		〃
		労働関係調査資料の紹介(12) 技術研修生の受け入れの現状と課題	佐藤博樹	〃
		コラム 後藤貞治のこと	二村一夫	〃
5019 - 029	371号	戦後初期組織化過程における運動と諸潮流	木下武男	1989.10
	【特集】	建設労働組合運動の確立過程とその特質	浅見和彦	〃
	建設労働組合史論	建設労働組合運動と社会保障闘争	手島繁一	〃
		建設労働組合の80年代「飛躍」の要因	木下武男	〃
		産別会議研究会ヒアリング 杉浦正男氏に聞く(3)		〃
		【書評】伍賀一道『現代資本主義と不安定就業問題』	椎名恒	〃
		【書評】佐野稔『日本労働組合論』	平井陽一	〃
5019 - 030	372号	日本的労使関係の社会的基盤	光岡博美	1989.11
		米騒動後の知識人の動向	梅田俊英	〃
		満州事変期の労働者統合	山本和重	〃
		建設労働組合史論(2) 戦前建設労働者運動史論	田川実	〃
		【書評と紹介】三輪泰史『日本ファシズムと労働運動』	塩田咲子	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		【書評と紹介】 南部金属労働運動研究会編纂委員会『地域支部がめざした労働組合運動』ほか	浅見和彦	〃
		コラム 月島調査と大原社研	二村一夫	〃
		労働関係調査資料の紹介(15) 小規模商店における労働時間問題	佐藤博樹	〃
5019 - 031	373号	外国人労働者と労働組合	森廣正	1989.12
	【特集】	現下の西ドイツにおける異邦人をめぐる問題状況(上)	山本健児	〃
	西欧の外国人労働者問題	フランスの外国人労働者の動向	林瑞枝	〃
		イギリスの移民労働者問題と政策状況	小林謙一・阿部誠	〃
		外国人労働者問題文献目録(2)	佐伯哲朗	〃
		産別会議研究会ヒアリング 杉浦正男氏に聞く(4)		〃
		【書評】野原光・藤田栄史編『自動車産業と労働者』	上井喜彦	〃
		【書評】竹中恵美子『戦後女子労働史論』	荒又重雄	〃
		労働関係調査資料の紹介(16) 小規模商業の経営多角化	佐藤博樹	〃
5019 - 032	374号	国際運輸労組連盟の便宜置籍船排除活動	佐藤知子	1990.1
		高度成長期初期の労働運動の原動力と限界	竹田誠	〃
		現下の西ドイツにおける異邦人をめぐる問題状況(下)	山本健児	〃
		『カール・ヤンソン伝』の紹介にあたって	村田陽一	〃
		ヴェ・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』	村田陽一訳	〃
		産別会議研究会ヒアリング 杉浦正男氏に聞く(完)		〃
		【書評】中山章『イギリス労働貴族』	松村高夫	〃
		【書評】岡本宏『日本社会主義史研究』	梅田俊英	〃
5019 - 033	375号	地方労働運動史研究の現状	荒川章二	1990.2
	【特集】	地方農民運動史研究の現状	横関至	〃
	地方社会運動史・労働運動史研究の現状	地方無産政党運動史研究の現状	大野節子	〃
		地方社会運動史研究の現状	梅田俊英	〃
	(その4=四国地方九州・沖縄地方)	本特集で対象とされている都道府県史一覧	古谷暢子	〃
		■シリーズ社会調査(1)現場で働く建設業従事者のライフスタイルと健康	朝倉隆司	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(2) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■書評と紹介 田坂敏雄編『東南アジアの開発と労働者形成』	小林英夫	〃
		■書評と紹介 藤井昭三『(連合)の誕生』	五十嵐仁	〃
		■書評と紹介 片岡徳雄・喜多村和之編『大学授業の研究』	佐伯哲朗	〃
5019 - 034	376号	外国人労働者に関するILO条約・勧告	鈴木宏昌	1990.3
		保護と均等待遇をめぐって	高藤昭	〃
		外国人労働者問題に関する最近の行政の動向	嶺学	〃
		中長期を視野に入れたシステムの対応を	井上定彦	〃
		外国人労働力問題=日経連の考え方	成瀬健生	〃
		寄稿：外国人労働者問題を考える	吉免光頭	〃
		参考資料：外国人労働者に関するILO条約・勧告/総評の見解		〃
		創立70周年記念国際シンポジウム傍聴記	萩原進・石井菊枝	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(3) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■書評と紹介 篠田徹『世紀末の労働運動』	手島繁一	〃
		■書評と紹介 鎌田慧『反骨——鈴木東民の生涯』	吉田健二	〃
		■コラム 宇野弘蔵と浅草調査	二村一夫	〃
5019 - 035	377号	大企業におけるキャリア開発の実情・問題・課題	小山田英一	1990.4
		イギリス失業保険の原像	藤井透	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■地方社会運動史・労働運動史研究の現状 地方労働運動史研究の現状(5)	荒川章二	〃
		■日本労働年鑑関連資料 『連合』活動日誌(1989年1月～4月)	浅見和彦	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(4) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■シリーズ社会調査(2) 出向等の調査研究	金子和夫	〃
		■書評と紹介 高橋祐吉『企業社会と労働組合』	高木督夫	〃
		■書評と紹介 石川県社会運動史刊行会編『石川県社会運動史』	大野節子	〃
5 019 - 036	378号	農村の社会主義・都市の社会主義(フランス:1890-1914)	相良匡俊	1990.5
	【特集】	ナチスの農村労働者政策(1930~32年)	伊集院立	〃
	西欧社会・	■書誌研究 個人文庫の冊子目録を検討する	若杉隆志	〃
	労働運動史の	■産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(1)		〃
	研究	『日本労働年鑑』関連資料 『連合』活動日誌(1989年5月～12月)	浅見和彦	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(5) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■シリーズ社会調査(3) 中高年職業ドライバーの就労実態に関する調査	森隆男	〃
		■研究会報告 労務管理と人事制度	QWL研究会	〃
		■書評と紹介 氏原正治郎『日本の労使関係と労働政策』『日本経済と雇用政策』を読んで	舟橋尚道	〃
		野坂参三『風雪のあゆみ』(1)～(8)	塩田庄兵衛	〃
5 019 - 037	379・380号	シンポジウムの主旨と問題提起	舟橋尚道	1990.6・7
	【法政大学大原社会	[第1日]第I部:西ヨーロッパ労働運動の経験 西ヨーロッパにおける外国人労働者と労働組合	S. キャッツルズ	〃
	問題研究所創立70周年	外国人労働者と西ドイツ労働組合	S. ミュラー	〃
	記念国際シンポジウム	フランスの外国人労働者と労働組合	見. トリビエ/シ. ドウ・ヴェンゲン	〃
	外国人労働者問題と労働組合	コメント	小林謙一・中村賢二部・長部誠彦	〃
		質疑応答と討論 [第2日]第II部:日本の現状と労働運動の課題 日本における外国人労働者問題の現状	森廣正	〃
		「連合」の外国人労働者問題に対する考え方	加藤敏幸	〃
		全建総連の外国人労働者政策	加藤忠由	〃
		コメント	金子征史・内海愛子	〃
		質疑応答と討論 資料:報告関連資料/労働組合の方針		〃
		■産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(2)		〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(6) ヴェ・シテインベルク著		〃
		■書評と紹介 岡本秀昭編著『国際化と労使関係』	亀山直幸	〃
		■書評と紹介 長原豊『天皇制国家と農民』	横関至	〃
		■書評と紹介 前川雅夫編『炭坑誌 長崎県石炭史年表』	梅田俊英	〃
		■コラム 権田保之助のこと	二村一夫	〃
5 019 - 038	381号	米国自動車産業のQWL	公文溥	1990.8
	【特集】	L. E. テイビスの職務設計論の基礎	庄村長	〃
	働きがいと労使の	革新的組織と自己実現	QWL研究会	〃
	対応:労働の人間化	日本における「ヒューマンリソース・マネジメント」の課題と展望	村上良三	〃
	(QWL)をめぐる諸問題	労働の人間化(QWL)に関する諸文献	QWL研究会	〃
		資料 電機労連技術者憲章		〃
		■産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(3)		〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(7) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■書評と紹介 戸塚秀夫・中村圭介・梅澤隆『日本のソフトウェア産業』	八幡成美	〃
		■書評と紹介 総評政策局編『戦後労働運動の到達点』	早川征一郎	〃
		■コラム 権田と櫛田——明治の社会主義青年	二村一夫	〃
5 019 - 039	382号	■調査報告 ユニオン・リーダー調査についての中間報告 ユニオン・リーダー研究会		1990.9

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		中高年事業団の現状と課題	町田隆男	〃
		社会変動と高齢者問題の位置	金海雲	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(4)		〃
		■シリーズ社会調査(4) ソフトウェア労働と中高齢者	尾形隆彰	〃
		■書評と紹介 赤岡功『作業組織再編成の新理論』	庄村長	〃
		■書評と紹介 熊沢誠『日本的経営の明暗』	平井陽一	〃
5019 - 040	383号	オーストラリアにおける職場労働組織の再編	長峰登記夫	1990.10
		アメリカ共産党の労働組合運動路線の転換(1)	野口英雄	〃
		大正デモクラシー期の左翼出版界	梅田俊英	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(5・完)		〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(8) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■書評と紹介 西村豁通『現代社会政策の基本問題』	高田一夫	〃
		■書評と紹介 連合「連合「組織方針」作成に向けた中間報告・産業別組織の機能の現状」調査報告書	浅見和彦	〃
5019 - 041	384号	労働戦線再編下の90年春闘	早川征一郎	1990.11
	【特集】	「連合」の運動と組織	浅見和彦	〃
	労働戦線の再編	全労連の組織と運動	佐伯哲朗	〃
		全労協の組織と運動	五十嵐仁	〃
		「連合」体制下の組織構想について	篠田徹	〃
		日本労働年鑑関連資料 「連合」活動日誌(1990年1月～6月)	浅見和彦	〃
		■書評と紹介 乾彰夫『日本の教育と企業社会』	元島邦夫	〃
		■書評と紹介 文献紹介「東欧革命」をめぐって	佐伯哲朗	〃
5019 - 042	385号	日本における農民の時間と工場の時間	野口英雄	1990.12
		アメリカ共産党の労働組合運動路線の転換(2)	野口英雄	〃
		西ドイツの住宅事情	森廣正	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 小林栄一郎氏に聞く(1)		〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(9) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■シリーズ社会調査(5) 女子情報処理技術者の就労実態	上林千恵子	〃
		■書評と紹介 武輝久『カナダの労使関係と法』	秋田成就	〃
		■書評と紹介 萩野喜弘編『戦前期筑豊炭鉱業の経営と労働』	相沢一正	〃
5019 - 043	386号	IN Search of Humanization of Work	Manabu Mine	1991.1
		革命的サンジカリズムの台頭と衰退	鍋谷郁太郎	〃
		ドイツ社会民主党・議会主義・世論	鍋谷郁太郎	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 小林栄一郎氏に聞く(2)		〃
		■シリーズ社会調査(6) 地域振興から「山村の社会学」へ	宮沢尚史	〃
		■書評と紹介 手塚和彰『労働力移動の時代』	鈴木宏昌	〃
		■書評と紹介 戸木田嘉久『現代資本主義とME化』	鷺谷徹	〃
		■書評と紹介 K. V. ウォルフレン『日本——権力構造の謎』	五十嵐仁	〃
5019 - 044	387号	大正デモクラシー期における島根の地域ジャーナリズムと社会運動	梅田俊英	1991.2
		戦後初期の社会党・共産党と戦前農民運動	横関至	〃
		ドイツ11月革命と社会化問題(1)	小林勝	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 小林栄一郎氏に聞く(3)		〃
		■連載 カール・ヤンソン伝 ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■シリーズ社会調査(7) 大都市勤労者の労働生活の質と健康	近藤美智子	〃
		■書評と紹介 下田平裕身他『労働調査論』	江口英一	〃

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 R. ビーン編著／伊藤陽一他訳『国際労働統計』	二村一夫	〃
5019 - 045	388号	女子労働者に関するILO条約・勧告	木村愛子	1991.3
	【国際労働問題シンポジウム】	女子労働者と夜間労働	山本吉人	〃
		ILO総会における審議をめぐって	椎谷正	〃
	女子労働者と夜間労働—ILOと日本】	夜業についての労働組合側の見解	高島順子	〃
		夜業についての使用者側の見解	荒川春	〃
		参考資料：1.夜業(女子)条約(改訂)の1990年議定書の概要・2.夜業条約の概要		〃
		解説：女子労働者と夜間労働—ILO基準の展開と日本における問題点	嶺学	〃
		ドイツ11月革命と社会化問題(2)	小林勝	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(11) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■シリーズ社会調査(8) 老人ホームにおける福祉マンパワーの能力開発	下山昭夫	〃
		■書評と紹介 江口英一編『日本社会調査の水脈』	徳永重良	〃
		■書評と紹介 鈴木徹三著『片山内閣と鈴木茂三郎』	吉田健二	〃
5019 - 046	389号	アジアにおける国際労働力移動	佐々木聖子	1991.4
	【特集】	パキスタンの海外労働移動	深町宏樹	〃
	外国人労働者問題	中国の労働力輸出	丸川知雄	〃
	送り出し国の場合】	外国人労働者問題文献目録(3)	佐伯哲朗	〃
		■海外通信 ヨーロッパの移住労働者の会議に参加して	森廣正	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 辻英太・永田明子両氏に聞く(上)		〃
		■書評と紹介 Rashid Amjad(ed.), "To the Gulf and Back"	石井知章	〃
		■書評と紹介 江橋崇編『外国人労働者と人権』	尾崎和代	〃
		■書評と紹介 児玉勝子『十六年の春秋』	大野節子	〃
5019 - 047	390号	ユニオンリーダーの意識とキャリア形成に関する研究	岩崎馨	1991.5
		イギリス炭鉱ストにみる警備・弾圧態勢	松村高夫	〃
		イギリス庶民の記録運動資料について	早川紀代	〃
		■海外通信 シンポジウム「多元文化社会への展望」に出席して	森廣正	〃
		■日本労働年鑑関連資料 「連合」活動日誌(1990年7月~12月)	浅見和彦	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(12) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■シリーズ社会調査(9) 障害労働者の高齢化問題	森隆男	〃
		■書評と紹介 岡本秀昭『経営と労働者』	中條毅	〃
		■書評と紹介 徳永重良・杉本典之編『FAからCIMへ』	熊沢誠	〃
		■書評と紹介 刊行会編『南佐久農民運動史(戦後編)』	大野節子	〃
5019 - 048	391号	ヴァイマル共和国の労働者文化	相馬保夫	1991.6
	【特集】	「最暗黒のウィーン」から「赤いウィーン」へ	小沢弘明	〃
	戦間期ヨーロッパの労働者文化】	余暇の組織化の政治学	井上茂子	〃
		■海外通信 ドイツ「多元文化問題対策事業部」を訪ねて	森廣正	〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(13) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃
		■書評と紹介 日本ILO協会編『海外からみた日本の労働像』	竹内剛	〃
		■書評と紹介 西田美昭他編『栗原百寿農業理論の射程』	横関至	〃
5019 - 049	392号	日本における労働者間競争の性格	光岡博美	1991.7
		日本企業における社会的統合のメカニズム	J. ベルクマン・佐藤弘訳	〃
		朝鮮総督府の社会事業	金早雪	〃
		■産別会議研究会ヒアリング 辻英太・永田明子両氏に聞く(下)		〃
		■連載 カール・ヤンソン伝(14・完) ヴェ・シテインベルク著	村田陽一 訳	〃



## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■シリーズ社会調査(10) 営業職の時間管理	平井陽一	〃
		■書評と紹介 多田吉三『日本家計研究史』	伊藤セツ	〃
		■書評と紹介 渡辺治『「豊かな社会」日本の構造』	高橋祐吉	〃
		■書評と紹介 大沢正道編『土民の思想』	梅田俊英	〃
5019 - 050	393号	現代日本のユニオンリーダー アメリカにおける労働史研究の最近の動向 1905年ベテルブルク労働運動研究の成果と課題 山川均の「民主革命」論と民主人民連盟 ■書評と紹介 鈴木宏昌著『国際化時代の労働問題』 ■書評と紹介 D. M. ゴードンほか『アメリカ資本主義と労働』 ■書評と紹介 高橋祐吉『企業社会と労働者』	ユニオンリーダー研究会 A. ゴードン 土屋好古 洪仁淑 梅谷俊一郎 富沢賢治 早川征一郎	1991.8 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 051	394号 【特集】 現代日本における 労働者協同組合運動	労働者協同組合運動の国際的動向 中高年雇用・福祉事業団の労働者協同組合運動 ワーカーズ・コレクティブ運動の問題提起 労働組合の自主経営闘争 労働者協同組合関係文献目録 ■学会動向社会政策学会第82回大会を振り返って ■シリーズ社会調査(11) Uターン雇用の実情と問題 ■書評と紹介 社会政策学会年報第34集『日本の企業と外国人労働者』 ■書評と紹介 S. E. Marsland: The Birth of the Japanese Labor Movement ■書評と紹介 亀崎俊雄編『諸外国の港湾労働協約』	中川雄一郎 富沢賢治 柳沢敏勝 内山哲朗 高田一夫 尾形隆彰 依光正哲 二村一夫 浅見和彦	1991.9 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 052	395号 【特集】 高齢者雇用と 生活問題の現状	高齢者雇用問題の新展開 高齢者の能力再開発について 高齢者の生活時間・社会参加と定年退職後の地域・家庭生活 定年制・中高年労働問題文献目録 ■戦後社会運動研究会ヒアリング 『民主評論』と有賀新(上)——大島慶一郎氏に聞く ■書評と紹介 戸塚秀夫/兵藤釗編『労使関係の転換と選択』 ■書評と紹介 原輝史編『科学的管理法の導入と展開』 ■書評と紹介 宮島喬/梶田孝道編『統合と分化のなかのヨーロッパ』	高田一夫 下田健人 奥山正司 藤田栄史 長谷川義和 佐伯哲朗	1991.10 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 053	396号 【特集】 『民報』 『東京民報』 復刻記念特集	座談会：『民報』とその時代 戦後社会運動研究会ヒアリング 『民報』の創刊とその論説(上)——長島又男氏に聞く 年表『民報』『東京民報』の3年 ■シリーズ社会調査(12) サービス産業における深夜労働の労働衛生 ■読書ノート もう一つのUIなのか ■書評と紹介 炭礦の社会史研究会編『聞きがたり 茨城の炭礦に生きた人たち』 ■書評と紹介 村上安正『足尾に生きたひとびと』 ■書評と紹介 過労死弁護団全国連絡会議編『KAROSHI[過労死]』	吉田健二 朝倉隆司 篠田徹 村田淳 五十嵐仁	1991.11 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 054	397号	スウェーデンにおける職場ストレスの研究と公的政策 1951-52年朝鮮紡織争議(1) 春闘の展開と変貌 ■戦後社会運動研究会ヒアリング 『民主評論』と有賀新(下)——大島慶一郎氏に聞く ■シリーズ社会調査(13) 百貨店女子従業員の就業実態と意識 ■書評と紹介 労働争議史研究会編『日本の労働争議(1945~80年)』 ■書評と紹介 渡辺雅男『技術と労働過程論』	嶺学 中尾美知子 早川征一郎 金子和夫 兵藤釗 増田壽男	1991.12 〃 〃 〃 〃 〃 〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日		
		■書評と紹介 吉田和夫／奥林康司編「現代の労務管理」	高木督夫	〃		
5 019 - 055	398号 【特集】 韓国における 労使関係 政策の展開	特集の意図と解題	小林謙一	1992.1		
		民主的労働秩序の胎動 (1945～53)	金潤煥	〃		
		労働組織の拡充と政策転換 (1954～60)	卓熙俊	〃		
		労働法制と労働行政の整備 (1961～66)	金文永	〃		
		経済成長と労働力・社会開発の課題 (1967～74)	禹基度	〃		
		高度成長と労働経済の変化 (1975～79)	李相崙	〃		
		労使協力体制の確立に向けて (1980～85)	金秀坤	〃		
		■読書ノート 「オルタナティブ・ユニオニズム」の可能性	高橋祐吉	〃		
		■書評と紹介 責任編集：草光俊雄ほか『英国をみる 歴史と社会』	平田雅博	〃		
		■書評と紹介 E. Patricia Tsurumi : Factory Girls : Women in the Thread Mills of Meiji Japan	A. ゴードン	〃		
5 019 - 056	399号 【特集】 韓国労働・ 社会政策の展開	韓国における労使関係の形成と労働政策の展開	尹能善	1992.2		
		韓国における社会保障政策の展開と現状	金早雪	〃		
		1951-52年朝鮮紡織争議 (2)	中尾美知子	〃		
		「統一」一年後の東ドイツ	木戸衛一	〃		
		■戦後社会運動研究会ヒアリング 『民主評論』と有賀新(下)——大島慶一郎氏に聞く		〃		
		■書評と紹介 上野千鶴子著『家父長制と資本制』	三宅明正	〃		
		■書評と紹介 Andrew Gordon : Labor and Imperial Democracy in Prewar Japan	篠田徹	〃		
		■書評と紹介 荻野富士夫著『北の特高警察』	大野節子	〃		
5 019 - 057	400・401号	特集1 日本の労働関係研究所 労働関係研究所の歴史・現状・課題	二村一夫	1992.3.4		
		東京大学社会科学研究所 (労使関係部門)	山本潔	〃		
		日本労働研究機構研究所	高梨昌	〃		
		兵庫県立労働経済研究所	山田成信	〃		
		連合総合生活開発研究所	小林良暢	〃		
		労働運動総合研究所	宇和川邁	〃		
		労働科学研究所	鷺谷徹	〃		
		労働経済研究所	庄司博一	〃		
		労働調査協議会	井出久章	〃		
		労働調査研究所	板東慧	〃		
		特集2 戦後の大原社会問題研究所の研究・出版活動 戦争下の労働者・労働運動について	宇佐美誠次郎	〃		
		『マルクス経済学レキシコン』と久留間先生	大谷禎之介	〃		
		戦前社会運動機関紙誌の復刻と大原社会問題研究所	梅田俊英	〃		
		■書評と紹介 小池和男『仕事の経済学』	井上雅雄	〃		
		■書評と紹介 小池和男著『仕事の経済学』	井上雅雄	〃		
		■書評と紹介 嶺学『労働の人間化を求めて』	菊野一雄	〃		
		5 019 - 58	402号 【国際労働問題 シンポジウム】	外国人労働者に関する国連条約をめぐって		1992.5
				ILO条約から国連条約へ?	嶺学	〃
				移住労働者と家族の権利に関する条約	梓沢和幸	〃
外国人労働者に関する国の政策と国連条約	花見忠			〃		
コメント (1)・(2)	木原哲郎・広渡清吾			〃		
質疑応答 参考資料: 1. ILO条約と勧告の概要				〃		
2. 在住する国の国民でない個人の人権に関する宣言				〃		
3. すべての移住労働者とその家族の権利保護に関する条約				〃		
		■学会動向 社会政策学会第83回研究大会を振り返って	堀内隆治	〃		

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 杉本貴代栄ほか編著 『日米の働く母親たち』	大沢真知子	〃
		■書評と紹介 杉村芳美著 『脱近代の労働観』	嶺学	〃
5019 - 59	403号	現代賃金論序説	舟橋尚道	1992.6
		カウツキーの社会化論(1)	小林勝	〃
		イタリア共産党から左翼民主党へ(1)	福田富夫	〃
		■戦後社会運動研究会ヒアリング 『民報』の創刊とその論説(下)——長島又男氏に聞く		〃
		■書評と紹介 Mary Saso, Women in the Japanese workplace	A.ゴードン	〃
		■書評と紹介 社会保障研究所編 『外国人労働者と社会保障』	鈴木宏昌	〃
5019 - 60	404号	ポストモダニズムと労働組合	加藤譲治	1992.7
	【特集】	雇用継続をめぐる企業と高年齢者	田中勉	〃
	90年代における	環境変化と人事・労務管理の革新	村上良三	〃
	QWLの諸側面	産別会議研究会ヒアリング 日本民主婦人協議会(民婦協)の活動——松崎濱子氏に聞く		〃
		■報告 過疎化が進む秋田県阿仁町の観光開発	川俣修壽	〃
		■書評と紹介 百瀬宏・小倉充夫編 『現代国家と移民労働者』	佐伯哲朗	〃
		■書評と紹介 鈴木裕子編 『女性 反逆と革命と抵抗と』	梅田俊英	〃
5019 - 61	405号	ドイツ産業における週35時間労働制の展開と現状	N.アルトマン(訳:徳永重良)	1992.8
		農民運動の基礎過程	横関至	〃
		カウツキーの社会化論(2)	小林勝	〃
		■戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』の創刊と編集・経営(上)——本多清氏に聞く		〃
		■書評と紹介 徳永重良・野村正實・平本厚著 『日本企業・世界戦略と実践』	安保哲夫	〃
		■書評と紹介 手塚和彰・渡辺尚・仲尾宏・R.ルプレヒト編 『シンボジウム:日本とドイツの外国人労働者』	森廣正	〃
		■書評と紹介 師岡武男・仲衛監修・編著 『証言構成:戦後労働運動史』	吉田健二	〃
5019 - 62	406号	労働組合の経営参加と協同組合	内山哲朗	1992.9
		占領軍の雑誌検閲と『民主評論』	高野和基	〃
		イタリア共産党から左翼民主党へ(2)	福田富夫	〃
		■連載:作業服の時間(1) 1982年A金属東京工場における日常性の構造	田中洋子	〃
		■書評と紹介 Michael Lewis, Rioters and Citizens: Mass Protest in Imperial Japan	A.ゴードン	〃
		■書評と紹介 石田光男著 『賃金の社会科学』	橋元秀一	〃
		■書評と紹介 岩出博著 『英国労務管理』	早川征一郎	〃
5019 - 63	407号	経営情報ネットワークに支援された自律的作業集団の可能性	後藤光祥	1992.10
	【特集】	ドイツにおけるフレキシブル合理化と「労働の人間化」	風間信隆	〃
	QWL(労働生活	組織開発と労働の人間化	小山田英一	〃
	の質)の新段階	■戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』の創刊と編集・経営(中)——本多清氏に聞く		〃
		■書評と紹介 井上雅雄著 『日本の労働者自主管理』	下田平裕身	〃
		■書評と紹介 小林謙一・川上忠雄編 『韓国の経済開発と労使関係』	滝沢秀樹	〃
		■書評と紹介 A.リックス編/竹前・菊池訳 『日本占領の日々』	高野和基	〃
5019 - 64	408号	女性雇用をめぐる政策動向	大森真紀	1992.11
	【特集】	働き方としてのパートタイム分析	三山雅子	〃
	現代日本の	既婚女子労働者の家庭生活問題	大竹美登利	〃
	女性労働問題	■学会動向 現代の女性労働と社会政策——社会政策学会第84回大会を振り返って	津田美穂子	〃
		■研究会報告 旧東ドイツ地域の今後	E.ベルント	〃
		■連載:作業服の時間(2) 1982年A金属東京工場における日常性の構造	田中洋子	〃
		■書評と紹介 玉井金五著 『防貧の創造』	池田信	〃
		■書評と紹介 荻谷 剛彦著 『学校・職業・選抜の社会学』	石川晃弘	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 太田 貞祐著『足尾銅山の社会史』	村串仁三郎	〃
5 019 - 65	409号 【特集】 労働時間の 国際動向	アメリカ合衆国の労働時間	藤本武	1992.12
		ヨーロッパにおける労働時間の動向	鈴木宏昌	〃
		韓国における労働時間	三満照敏	〃
		補遺:「ドイツ産業における週35時間労働制の展開と現状」への補遺	徳永重良	〃
		■資料紹介 アメリカにおける日本労働史の新資料	三宅明正・遠藤公剛	〃
		■書評と紹介 岩井浩著『労働力・雇用・失業統計の国際的展開』	杉森滉一	〃
		■書評と紹介「社会政策叢書」編集委員会編『社会政策研究の方法と領域』	高田一夫	〃
		■書評と紹介 川人博著『過労死社会と日本』	五十嵐仁	〃
5 019 - 066	410号 【特集】 アジアNIES 労働問題の諸相	東アジア型市場経済システムの特徴	原洋之介	1993.1
		東アジアの経済成長と労使関係の変化	小林英夫・菅原春・風交江利雄	〃
		韓国”民主化争議”以後の労使関係	小林謙一	〃
		■戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』の創刊と編集・経営(下)——本多清氏に聞く		〃
		■連載:作業服の時間(3) 1982年A金属東京工場における日常性の構造	田中洋子	〃
		■書評と紹介 社会政策学会編『日本の労務管理』	栗田健	〃
		■書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所編『日本労働年鑑』第62集	藤井昭三	〃
		■書評と紹介 梶田孝道・伊豫谷登士翁編『外国人労働者論』	佐伯哲朗	〃
5 019 - 067	411号 【特集】 現代日本の 勤労者生活	現代における勤労者生活の変容と生活構造	岩田正美	1993.2
		共働き世帯の生活と性別役割意識	川島美保	〃
		現代日本における学歴・教育競争と労働者	中西新太郎	〃
		■連載:作業服の時間(4) 1982年A金属東京工場における日常性の構造	田中洋子	〃
		■書評と紹介 佐口和郎著『日本における産業民主主義の前提』	三輪泰史	〃
		■書評と紹介 清家篤著『高齢者の労働経済学』	町田隆男	〃
		■書評と紹介 サスキア・サッセン著 森田桐郎ほか訳『労働と資本の国際移動』	増田壽男	〃
		■書評と紹介 後房雄編著『大転換——イタリア共産党から左翼民主党へ』	福田富夫	〃
5 019 - 068	412号	【特集 国際労働問題シンポジウム——先進国における社会保障の将来】		1993.3
		ILOの社会保障推進の軌跡と展望	高藤昭	〃
		「先進国における社会保障の将来」会議の概要	井上恒男	〃
		労働者の立場から	梶本純	〃
		使用者の視点	藤田至孝	〃
		コメント:報告を聞いて	高橋武	〃
		質疑応答 参考資料:1.社会保障の国際基準設定に関するILO条約と批准状況		〃
		2.社会保障の国際基準設定に関する主要ILO勧告		〃
		3.社会保障の連携に関するILO条約と勧告		〃
		4.給付率の発展経過		〃
		5.雇用の促進と失業に対する保護に関する条約(168号)		〃
		6.雇用の促進と失業に対する保護に関する勧告(176号)		〃
		7.ILO「シンポジウム」に関する理事会への報告		〃
		8.先進諸国における社会保障関係統計集		〃
■書評と紹介 三富紀敬著『欧米女性のライフサイクルとパートタイム』	竹内敬子	〃		
■書評と紹介 土穴文人著『社会政策制度史論』	村串仁三郎	〃		
■書評と紹介 小林英夫著『東南アジアの日系企業』	二村一夫	〃		
5 019 - 069	413号 【特集】	ガストアルバイター時代の構造	佐藤忍	1993.4
		イギリスにおけるニュー・ライトの人種関係教育政策批判	藤田弘之	〃

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
	国際労働移動 の諸局面(1)	「システミック・ラショナルイゼーション」と日本企業の生産方式 変化の中の労働と生活——社会政策学会第85回研究大会を振り返って ■連載:作業服の時間(5) 1982年A金属東京工場における日常性の構造 ■書評と紹介 ジュリアン・ジャクソン著 訳者代表:向井喜典『フランス人民戦線史』 ■書評と紹介 安保哲夫ほか著『アメリカに生きる日本の生産システム』	佐武弘章 成瀬龍夫 田中洋子 相澤與一 相田利雄	〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 070	414号 【特集】 国際労働移動 の諸局面(2)	ドイツにおける外国人住民の選挙権をめぐる フランスの移民問題 ■翻訳 韓国における人事・労務管理の発展(1) ■研究会報告 法政大学大原社会問題研究所編 報告1 ■研究会報告『《連合時代》の労働運動』を読んで 報告2 ■書評と紹介 秋元樹著『アメリカ労働運動の新潮流』 ■書評と紹介 堤矩之・浪江巖編著『日本の労務管理と労使関係』 ■書評と紹介 荻野富士夫編・解題『特高警察関係資料集成』	森廣正 定松文 安春植 高木郁朗 A. ゴードン 風間龍 長谷川義和 大野節子・横関至	1993.5 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 071	415号 【特集】 欧米における 日本的生産方法	カナダ日系自動車企業における日本の生産方法と労働組合 「リーン生産方式」の5つの論点 ■翻訳 韓国における人事・労務管理の発展(2) ■戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(1)——吉武三雄氏に聞く ■連載:作業服の時間(6) 1982年A金属東京工場における日常性の構造 ■書評と紹介 村田陽一編訳著『資料集 初期日本共産党とコミンテルン』 ■書評と紹介 武知京三著『近代日本交通労働史研究』 ■書評と紹介 多田茂治著『大正アナキストの夢』	坂幸夫 佐武弘章 安春植 田中洋子 岩村登志夫 青木正久 梅田俊英	1993.6 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 072	416号	日本における「熟練」論の流れ パートタイム労働者組織化の再検討 ■翻訳 韓国における人事・労務管理の発展(3) ■戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(2)——吉武三雄氏に聞く ■連載:作業服の時間(7) 1982年A金属東京工場における日常性の構造 ■書評と紹介 N. Altmann, C. Kohler and P. Meil (ed.) Technology and Work in German Industry ■書評と紹介 『炭労』編纂委員会編『炭労 激闘あの日あの時』	野村正實 本田一成 安春植 田中洋子 佐藤忍 平井陽一	1993.7 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 073	417号	市民権の社会学再考 労働者協同組合における労働者統制の意義 ■翻訳 韓国における人事・労務管理の発展(4) ■戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(3)——吉武三雄氏に聞く ■連載:作業服の時間(8) 1982年A金属東京工場における日常性の構造 ■書評と紹介 舟橋尚道著『経済環境と労使関係』 ■書評と紹介 金森久雄・島田晴雄・伊部英男編『高齢化社会の経済政策』 ■書評と紹介 阿部五郎・後藤太刀味著『探索・近代山形の社会主義運動』	伊藤周平 塚本一郎 安春植 田中洋子 小野恒雄 小林謙一 吉田健二	1993.8 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
5019 - 074	418号	20世紀社会主義の歴史と現実 日本の労働市場・労使関係と労務管理 建設産業の就業・雇用と組織化問題 ■戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(4)——吉武三雄氏に聞く ■連載:作業服の時間(9) 1982年A金属東京工場における日常性の構造 ■書評と紹介 荻野喜弘著『筑豊炭鉱労資関係史』 ■書評と紹介 高木督夫・早川征一郎編著『国鉄労働組合』 ■書評と紹介 金三洙著『韓国資本主義国家の成立過程1945-53年』	盛田常夫 光岡博美 椎名恒 田中洋子 市原博 井上雅雄 高野和基	1993.9 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5 019 - 075	419号	現代ホワイトカラーの労働時間問題	清山玲	1993.10
		国家公務員の昇進システムとその実態 (1)	早川 征一郎	〃
		賃金と年金権の関連に関する一考察	岡伸一	〃
		日本における外国人労働者問題——社会政策学会第86回大会を振り返って	永山利和	〃
		■書評と紹介 栗田健編著『現代日本の労使関係』	熊沢誠	〃
		■書評と紹介 竹田誠著『王子製紙争議 (1957~60)』	上田修	〃
		■書評と紹介 新川敏光著『日本型福祉の政治経済学』	五十嵐仁	〃
5 019 - 076	420号 【特集】 ヨーロッパ労使 関係の動向	統一ドイツの労使体制	久本憲夫	1993.11
		1980年代イギリス労使関係の変化	田口典男	〃
		フランスにおける労使関係の変貌と労働運動の危機 (1)	長部重康	〃
		■戦後社会運動研究会ヒアリング 『夕刊京都』と京都の左翼文化人 (1) ——和田洋一氏に聞く		〃
		■書評と紹介 山本吉人著『労働委員会命令と司法審査』	秋田成就	〃
		■書評と紹介 石田光男・井上雅雄・上井彦彦・仁田道夫編『労使関係の比較研究』	高橋克嘉	〃
5 019 - 077	421号	キリスト教徒賀川豊彦の革命論と日本農民組合創立	横関至	1993.12
		フランスにおける労使関係の変貌と労働運動の危機 (2)	長部重康	〃
		国家公務員の昇進システムとその実態 (2)	早川征一郎	〃
		■戦後社会運動研究会ヒアリング 『夕刊京都』と京都の左翼文化人 (2) ——和田洋一氏に聞く		〃
		■書評と紹介 『総評四十年史』編纂委員会編『総評四十年史』	佐野稔	〃
		■書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所編『労働の人間化の新展開』	奥林康司	〃
		■書評と紹介 梶田孝道編『国際社会学』	佐伯 哲朗	〃
5 019 - 078	448号 【国際労働問題 シンポジウム】 国際社会における 今日の雇用問題 —ILO総会での 討議に関連して	ILOの世界雇用報告	栗山直樹	1996.3
		ILOにおける審議をめぐって	椎谷正	〃
		労働者の立場から	伊藤祐禎	〃
		使用者の立場から	鈴木俊男	〃
		雇用の終了に関する国際労働基準について考える 金子征史	金子征史	〃
		質疑応答 参考資料:1.『雇用の促進—事務局長報告』の構成と政策提起(要旨)		〃
		2.一般討議に関する事務局長の回答(要旨)		〃
		3.栗山報告関連資料		〃
		4.鈴木報告関連資料		〃
		5.金子報告レジュメ		〃
		6.使用者の発意による雇用の終了に関する条約(第158号条約)		〃
		7.使用者の発意による雇用の終了に関する勧告(第166号勧告)		〃
		8.『不当な解雇に対する保護』から(要旨)		〃
		■書評と紹介 小池和男著『日本の雇用システム』	嶺学	〃
■書評と紹介 川北稔著『イギリス 繁栄のあとさき』	佐伯哲朗	〃		
5 019 - 079	449号	人事査定制度の日米比較	遠藤公嗣	1996.4
		1980年代アメリカの作業組織改革をめぐる研究潮流	篠原健一	〃
		■書評と紹介 M.パーカー・J.スローター編著 戸塚秀夫監訳『米国自動車工場の変貌』 高橋祐吉	高橋祐吉	〃
		■書評と紹介 室田保夫著『キリスト教社会福祉思想史の研究』	横関至	〃
		■書評と紹介 犬丸義一著『第一次共産党史の研究』	大野節子	〃
5 019 - 080	450号 【特集】 「民主化宣言」以後の 韓国労働事情	韓国・三星財閥における労使関係の変化	金基元	1996.5
		韓国の自動車A社における人事制度改革(上)	金鎔基	〃
		韓国の自動車産業における日本型生産システムの導入	公文溥	〃
		弾力化・規制緩和と社会政策——社会政策学会第91回研究大会を振り返って	伍賀一道	〃

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 孫昌熹著『韓国の労使関係』	三満照敏	〃
5019 - 081	451号	「造船危機」と雇用削減問題	相田利雄	1996.6
		産別会議民主化同盟の成立過程	兵頭淳史	〃
		韓国の自動車A社における人事制度改革(下)	金鎔基	〃
		社会民主党発足大会傍聴記	高橋彦博	〃
		法政大学第12回多摩シンポジウム——急速な高齢化	根岸秀世	〃
		■書評と紹介 嶺学著『労働の人間化の展開過程』	赤岡功	〃
		■書評と紹介 岩田正美著『戦後社会福祉の展開と大都市最底辺』	加藤佑治	〃
5019 - 082	452号	介護保険の導入でどうなるのか,高齢者の暮らし	橋本泰子	1996.7
	【特集】	町田市の在宅保健・介護・医療計画	町田隆男	〃
	急速な高齢化—	地元の医療・保健・福祉の調査から	嶺学	〃
	—安心して住める	里見賢治他『介護保険に異議あり』	嶺学	〃
	コミュニティの実現を	職場の自律性管理のメカニズム	大野威	〃
	目指して(法政大学	■書評と紹介 奥林康司編著『変革期の人的資源管理』	小山田英一	〃
	第12回多摩シンポジウムより)	■書評と紹介 P h . ノビーレ編著/三国隆志ほか訳『葬られた原爆展』	吉田健二	〃
5019 - 083	453号	イタリアにおける男女平等のためのポジティブ・アクション(上)	亀田利光	1996.8
		1920年代農民運動史研究の評価基軸	横関至	〃
		日系ブラジル人の雇用管理	佐藤忍	〃
		UAWに明日はあるのか	萩原進	〃
		■書評と紹介 木本喜美子著『家族・ジェンダー・企業社会』	塩田咲子	〃
		■書評と紹介 伊藤晃著『転向と天皇制』	梅田俊英	〃
5019 - 084	454号	公的介護保険と日本の福祉政策	伊藤周平	1996.9
		イタリアにおける男女平等のためのポジティブ・アクション(中)	亀田利光	〃
		構内下請けと日系ペルー人	佐藤忍	〃
		賃金論研究と私(上)	舟橋尚道	〃
		日本的経営の変貌と人事・労務管理——労務理論学会第6回大会をふりかえって	相澤与一	〃
		■書評と紹介 小沢弘明・佐伯哲朗・相馬保夫・土屋好古著『労働者文化と労働運動』	中野隆生	〃
		■書評と紹介 ジャン・フランコ・ヴェネ著 柴野均訳『ファシズム体制下のイタリア人の暮らし』	福田富夫	〃
5019 - 085	455号	ワイマール期在独日本人のベルリン社会科学研究会	加藤哲朗	1996.10
		イタリアにおける男女平等のためのポジティブ・アクション(下)	亀田利光	〃
		賃金論研究と私(下)	舟橋尚道	〃
		■証言 日本の社会運動 日本政治経済研究所と『大衆政治経済』(1)——小林英三郎氏に聞く		〃
		■書評と紹介 足立正樹著『現代ドイツの社会保障』	小柳治宣	〃
		■書評と紹介 鈴木裕子編・解説『日本女性運動資料集成代第4-7巻/生活・労働I-VI』	大野節子	〃
5019 - 086	456号	日本における労働・社会政策の枠組みとその変動	嶺学	1996.11
		勸告の馬山輸出自由地域における雇用と労使関係	金泰永	〃
		労使関係・社会政策・労働法論研究と私	舟橋尚道	〃
		■書評と紹介 宇田川勝・佐藤博樹・中村圭介・野中いづみ著『日本企業の品質管理』	石田光男	〃
		■書評と紹介 増田弘著『公職追放』	横関至	〃
		■書評と紹介 大原社研編『証言 産別会議の誕生』	兵藤淳史	〃
5019 - 087	457号	民主労働組合運動の成長と政治活動	丁榮泰	1996.12
	【特集】	民営化と労働問題	金大煥	〃
	韓国労使関係	韓国造船業での現場権力をめぐる労使葛藤	尹辰浩	〃
	の現状と展望	■書評と紹介 日本労働社会学会編『企業社会の中の女性労働者』	二村一夫	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5019 - 088	458号 【特集】 協調会の今日的検討	協調会コーポラティズムの構造	高橋彦博	1997.1
		戦前期争議調停における協調会の役割	矢野達雄	〃
		協調会の労務者講習会	木下順	〃
		■証言 日本の社会運動 日本政治経済研究所と『大衆政治経済』(2)——小林英三郎氏に聞く		〃
		21世紀の社会保障=戦後50年の総括と展望——社会政策学会代92回大会を振り返って——	真屋尚生	〃
		■書評と紹介 太田和宏著『家父長制の歴史構造』	相馬保夫	〃
		■書評と紹介 藤井治江著『日本型企業社会と女性労働』	長谷川伸子	〃
5019 - 089	459号 【国際労働問題 シンポジウム 今、なぜ家内労働か？ ILOの家内労働条約 ・勧告をめぐって】	ILOにおける審議をめぐって	荒竜夫	1997.2
		労働者の立場から	沖田信夫	〃
		使用者の立場から	橋本一美	〃
		ILO基準と日本の家内労働・新しい就業	諏訪康雄	〃
		■証言 日本の社会運動 日本政治経済研究所と『大衆政治経済』(3) 小林英三郎氏に聞く		〃
		戦後50年と私の労働問題研究	戸木田嘉久	〃
		■書評と紹介 奥田健二監修/今田幸子・平田周一著『ホワイトカラーの昇進構造』	早川征一郎	〃
5019 - 090	460号	日韓労使関係の比較史的検討	二村一夫	1997.3
		パートタイム労働の基幹労働力化の背景と方向	横山正博	〃
		■資料紹介 アラン・ハット田蔵 世界労働運動史コレクション	山内昭人	〃
		村山政権成立についての当事者の証言	五十嵐仁	〃
		■書評と紹介 法政大学比較経済研究所/松崎義編『中国の電子・鉄鋼産業——技術革新と企業改革』	小林謙一	〃
5019 - 091	461号 【特集】 社会福祉システム と在宅介護	介護保険を展望した保険・医療・福祉の連携システムのあり方	樋口恵子	1997.4
		在宅介護の現状と課題	山田美和子	〃
		電産賃金体系における『年齢』と『家族』——ジェンダー視点からの分析	山田和代	〃
		今日の賃金問題——社会政策学会第93回研究大会を振り返って	遠藤公嗣	〃
		■証言 日本の社会運動 戦前・戦後初期の松本重治(1)——殿木圭一氏に聞く		〃
		■書評と紹介 社会保障研究所編『医療保障と医療費』	箕岡三徳	〃
		■書評と紹介 加藤智章著『医療保険と年金保険』	高藤昭	〃
5019 - 092	462号	米国及びカナダの高齢者ケア政策と家族支援	萩原康子	1997.5
		女性請負型テレワークの実態と課題	神谷隆之	〃
		中高年齢の機械工がコンピュータ職務へ転換することによって生じた労働負担	千田忠男	〃
		■証言 日本の社会運動 戦前・戦後初期の松本重治(2・完) 殿木圭一氏に聞く		〃
		■書評と紹介 池上直己/J. C. キャンベル著『日本の医療』	根岸秀世	〃
5019 - 093	463号 【特集】 アジア諸国の 労働問題(1)	強い宗教は労務管理の妨げとなるか——インドのU. P. 州ケールジャにおける工場調査から	清川雪彦	1997.6
		パキスタンにおける産業と雇用——南アジアにおける資本・賃労働関係考察の周辺条件	竹内常善	〃
		フィリピンへの労働力輸出	佐藤忍	〃
		■書評と紹介 宮島喬・梶田孝道編『外国人労働者から市民へ——地域社会の視点と課題から』	小川浩一	〃
		■書評と紹介 遠藤幸男著『就業構造の変化と労働者の生活』	細川汀	〃
5019 - 94	464号 【特集】 アジア諸国の 労働問題(2)	1990年代のマレーシアの労働力構造——1970年代以降の経済発展と労働力不足をめぐって	吉村真子	1997.7
		シンガポールの労働市場動向——都市型の経済構造と労働力供給	竹野忠弘	〃
		韓国『都市下層』と労働市場——1970年代から80年代前半を中心に	横田伸子	〃
		■証言：日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト(1)——川添隆行氏に聞く		〃
		■書評と紹介 十名直喜著『鉄鋼生産システム 資源、技術、技能の日本型諸相』	松崎義	〃



I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 長部重康著『変貌するフランス』	佐伯哲朗	〃
5019 - 95	465号	『日本の経営』とその後 論文 日本社会党の創立 (1)	J. アベグレン 鈴木徹三	1997.8 〃
		■証言 日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (2) ——川添隆行氏に聞く スペイン『国際旅団賛歌』について	川成洋	〃
		■書評と紹介 中村圭介著『日本の職場と経営システム』	鈴木良始	〃
		■書評と紹介 庄谷玲子著『現代の貧困の諸相と公的扶助 要保護層と被保護層』	川上昌子	〃
		■書評と紹介 日本労働ペンクラブ編『回想の労農記者会』	吉田健二	〃
5019 - 96	466号	タイ：国内人口移動と産業構造変化 【特集】 アジア諸国の 労働問題 (3)	渡辺真知子 梁官洙 鈴木徹三	1997.9 〃 〃
		日本社会党の創立 (2・完) ■書評と紹介 サンドベルイ編著『充実した生産方式』	嶺学	〃
		■書評と紹介 西田美昭著『近代日本農民運動史』	横関至	〃
5019 - 97	467号	パキスタンの労働事情 【特集】 アジア諸国の 労働問題 (4)	深町宏樹 浅見靖仁	1997.10 〃
		タイの労働裁判所：その設立の経緯と機能 ■証言 日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (3) ——川添隆行氏に聞く アジアの労働と生活 社会政策学会第94回大会を振り返って	小林英夫	〃
		■書評と紹介 市原博著『炭坑の労働社会史』	荻野喜弘	〃
		山内昭人著『リユトヘルスとインタナショナル史研究』	犬丸義一	〃
		黒須純一郎著『イタリア社会思想史』	福田富夫	〃
5019 - 098	468号	中国労働市場の構造 【特集】 アジア諸国の 労働問題 (5)	丸川知雄 李捷生 嚴善平	1997.11 〃 〃
		1990年代中国における地域間人口移動の実態とメカニズム ■証言 日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (4・完) ——川添隆行氏に聞く	〃	〃
		■書評と紹介 Michael A.Winer著『Race and Migration in Japan』	岩村登志夫	〃
		■書評と紹介 西成田豊著『在日朝鮮人の《世界》と《帝国》国家』	岩村登志夫	〃
		■書評と紹介 熊沢誠著『能力主義と企業社会』	井上雅雄	〃
		■書評と紹介 石井耕著『現代日本企業の経営者』	長谷川義和	〃
5018 - 099	469号	1950年代韓国企業の経営管理と労働者 【特集】 アジア諸国の 労働問題 (6)	金鎔基 金泰永 相田利雄・金鎔基	1997.12 〃 〃
		韓国における日系進出企業の労使関係に関する研究 韓国造船産業の経営管理と労使関係	〃	〃
		■書評と紹介 庄谷玲子・中山徹著『高齢在日韓国・朝鮮人』	岩田正美	〃
		■書評と紹介 濱崎忠晃編著『資料で読む 電力会社はこんな会社』	小関隆志	〃
5019 - 100	470号	「クローズIV社会主義」の顛末 A自動車の労働過程 ■証言：日本の社会運動 ”日労”系指導者の戦後と『社会思潮』 (1) 松井政吉氏に聞く ■書評と紹介 金子征史編著『労働条件をめぐる現代的課題』 ■書評と紹介 中田照子/杉本貴代榮/森田明美著『日米のシングルマザーたち』	尾上正人 大野威 長淵満男 川島美保	1998.1 〃 〃 〃
5019 - 101	531号	「アメリカ合衆国における外国人労働者問題の研究動向サーベイー日本を中心に」 【特集】 外国人労働者 問題の研究動向 (4)	庄司啓一 唐規昭・清川雪彦 石塚史樹 鈴木徹三 池田信 五十嵐仁	2003.2 〃 〃 〃 〃 〃
		「インドにおける出稼ぎ移民問題—その流入と流出をめぐる」 「ドイツ企業における組織形態・経営方式の変質と企業管理層職員の雇用システム(上)」 「戦後社会運動史資料論—鈴木茂三郎(3)」 「『社会政策論の方向転換』への旅(上)」 「世界の労働関係研究所・図書館・文書館(4)」	〃	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 「櫻井幸夫著『現代イギリス経済と労働市場の変容－サッチャーからブレアへ』」	田口典男	〃
		■書評と紹介 「Ramesh Mishra, Globalization and the Welfare State」	高藤昭	〃
		■書評と紹介 「柄本三代子著『健康の語られ方』」	野村一夫	〃
5019 - 102	627号	労働時間の二重構造と二極分化	森岡孝二	2011.1
		成年後見制度と社会福祉－その接点から新たな可能性を探る	岩間伸之	〃
		「人身売買」の定義再考にむけて－「いわゆる人身売買」と労働搾取問題	佐々木綾子	〃
		■証言：日本の社会運動 終戦の和平工作と政治犯釈放のころ－山崎早市氏に聞く（2・完）	吉田健二	〃
		■書評と紹介 金杉秀信著『金杉秀信オーラルヒストリー』	山本潔	〃
		■書評と紹介 松井保彦著『合同労組運動の検証－その歴史と論理』	高須裕彦	〃
		■書評と紹介 田中雅孝著『両大戦間期の組合製糸－長野県下伊那地方の事例』	榎一江	〃
5019 - 103	628号	インド－資金調達としてのフィランソロピーとNGOの活動	井上貴子	2011.2
	【特集】	中国および香港－中国人社会の個性に注目して	帆刈浩之	〃
	フィランソロピーに 関する研究動向の 整理と文献紹介（2）	日本－フィランソロピー研究における現状分析と歴史研究の課題	大杉由香	〃
		フィランソロピー研究の成果と課題	高田実	〃
		ヨーロッパのユダヤ人フィランソロピーと社会発展－19～20世紀におけるロスチャイルド家の事例研究から	クラウス・ヴェーバー/金田真由美	〃
		■書評と紹介 熊沢 誠著『働きすぎに斃れて－過労死・過労自殺の語る労働史』	香山リカ	〃
		■書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所・鈴木玲編『新自由主義と労働』	田端博邦	〃
		■書評と紹介 遠州尋美編著『低炭素社会への選択－原子力から再生可能エネルギーへ』	大平佳男	〃
5019 - 104	629号	「2010年のILO総会について」	長谷川真一	2011.3
	【特集】	「日本の雇用戦略について－労働市場の二極化改善を通じた質の高い雇用創出に向けて」	鶴光太郎	〃
	第23回国際労働問題 シンポジウム仕事の創出 新しい雇用戦略をめくって	「政府の立場から」	渡邊学	〃
		「労働者の立場から」	高澤滝夫	〃
		「参考資料」 雇用に関する反復審議に係る結論		〃
		Alessandro STANZIANI ed., Le Travail Contraint en Asie et en Europe XVIIe-XIXe siècles.－アジアとヨーロッパにおける強制労働 17-20世紀	清水克洋	〃
		■書評と紹介 遠藤比呂通著『不平等の謎－憲法のテオリアとプラクシス』	横田耕一	〃
		■書評と紹介 矢野久著『労働移民の社会史－戦後ドイツの経験』	森廣正	〃
5019 - 105	630号	新日本窒素における労働組合運動の生成と工職身分制撤廃要求－組合旧蔵資料の公開に寄せて	花田昌宣	2011.4
	【特集】	戦後日本の社会運動におけるチッソ労働運動の位置づけ－もう一つの「水俣」	大石裕	〃
	水俣病事件と 新日本窒素労働組合	メディア言説としての安定賃金闘争と水俣病事件	小林直毅	〃
		広区域単営医療組合の存立形態と地域社会－青森市・東青病院を中心に	川内淳史	〃
		■書評と紹介 藤内 和公著『ドイツの従業員代表制と法』	平澤克彦	〃
		■書評と紹介 有馬学著『日中戦争期における社会運動の転換－農民運動家・田辺納の談話と史料』	横関至	〃
5019 - 106	631号	三池争議とは	平井陽一	2011.5
	【シボジウム】	向坂逸郎にとっての三池	石河康国	〃
	三池争議と向坂逸郎	報告に対するコメント	兵頭淳史	〃
		1990年代以降のドイツにおける労働協約体制の変容－国家の役割に注目して	大重光太郎	〃
		■書評と紹介 早川征一郎著『イギリスの炭鉱争議（1984～85年）』	松村高夫	〃
		■書評と紹介 佐藤健二著『社会調査史のリテラシー－方法を読む社会学的想像力』	江頭説子	〃
5018 - 107	632号	労働運動のジェンダー主流化と女性の自主活動組織－英米の先行研究に見るジェンダー分析の視点と日本への含意	萩原久美子	2011.6
	【特集】	1990年代以降の韓国における労働力の非正規化とジェンダー構造	横田伸子	〃
	女性と労働運動（1）	同一価値労働同一賃金原則の変遷と課題	居城舜子	〃
		「左派」農民運動指導者の戦中・戦後－旧全会派の場合	横関至	〃
		■書評と紹介 野依智子著『近代筑農炭鉱における女性労働と家族－「家族賃金」観念と「家庭イデオロギー」の形成過程』	千本暁子	〃
		■書評と紹介 Jun Imai (今井 順) 著『The Transformation of Japanese Employment Relations: Reform without Labor』	鈴木玲	〃

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5019 - 108	633号 【特集】 女性と労働運動 (2)	非正規労働者の処遇改善と企業別組合の取り組み—ジェンダーへのインパクトに着目して	金井郁	2011.7
		女性組合役員の増加と組合運動の変化	首藤若菜	〃
		東芝における賃金制度の変遷とその特質—賃金制度再編の方向を探る	田口和雄	〃
		協調会発行の「労働雑誌」『人と人』の復刻	高橋彦博	〃
		■書評と紹介 赤堀正成・岩佐卓也編著『新自由主義批判の再構築—企業社会・開発主義・福祉国家—』	高橋祐吉	〃
		■書評と紹介 菅富美枝著『イギリス成年後見制度にみる自律支援の法理—ベスト・インタレストを追求する社会へ—』	秋元美世	〃
		■書評と紹介 菅山真次著『「就社」社会の誕生—ホワイトカラーからブルーカラーへ—』	金子良事	〃
5019 - 109	634号 【特集】 ベーシック・インカム	ベーシック・インカムの魅惑と当惑	成瀬龍夫	2011.8
		ベーシック・インカムの理論と実践—日本の社会政策の場合	武川正吾	〃
		東日本大震災と所得保障の必要性—ベーシック・インカム要求が提起するもの	山森亮	〃
		ベーシック・インカムというラディカルズム	新川敏光	〃
		■証言：日本の社会運動 全日化の結成と産別会議の運動—亀田東伍氏に聞く (上)	吉田健二	〃
		■書評と紹介 清水耕一著『労働時間の政治経済学—フランスにおけるワークシェアリングの試み—』	濱口桂一郎	〃
		■書評と紹介 河合克義著『大都市のひとり暮らし高齢者と社会的孤立—』	鄧俊	〃
■書評と紹介 竹田有著『アメリカ労働民衆の世界—』	南修平	〃		
5019 - 110	635・636号 【特集】 日本における 女性労働の歴史	社会政策学会第120回大会テーマ別分科会 「近代日本の女性労働」をめぐって	竹内敬子	2011.9.10
		近代日本の世帯経済と女性労働—「小経営」における「従業」と「家事」	谷本雅之	〃
		戦間期の繊維産業と労働市場の変容	榎一江	〃
		労働運動にみる男女雇用平等実現への課題—均等法制定前後の総評婦人局の諸相から	山田和代	〃
		労働調査の課題と方法—私的体験を踏まえて	山本潔	〃
		■証言：日本の社会運動 全日化の結成と産別会議の運動—亀田東伍氏に聞く (下)	吉田健二	〃
		■書評と紹介 山根純佳著『なぜ女性はケア労働をするのか—性別分業の再生産を超えて—』	矢澤澄子	〃
■書評と紹介前田 信彦著『仕事と生活—労働社会の変容—』	筒井美紀	〃		
■書評と紹介 ユルゲン・コッカ著/松葉 正文・山井 敏章訳『市民社会と独裁制—ドイツ近現代史の経験—』	栢田大知彦	〃		
5019 - 111	637号 【特集】 徒弟制度の変容と 熟練労働者の 再定義— 資格、技能、学理	特集にあたって	小野塚知二	2011.11
		日本における「熟練工」概念と「熟練工」養成プランの形成—徒弟制度・学校・企業内養成とのかかわり方に焦点を当てて	市原博	〃
		オーストラリアにおける徒弟制度と技能実習制度—その歴史的展開と将来展望	〃	〃
		20世紀初頭のフランス製造業における職業教育訓練と技能—権力闘争と金銭取引のはざままで	〃	〃
		障害者雇用におけるISO26000の役割と活用の意義—ステークホルダーエンゲージメントと社会的責任の組織への統合から	山田 雅徳	〃
		■書評と紹介 三富紀敬著『欧米の介護保障と介護者支援—家族政策と社会的包摂、福祉国家類型論—』	深澤敦	〃
		■書評と紹介 杉田菜穂著『人口・家族・生命と社会政策—日本の経験—』	堀口良一	〃
■書評と紹介 武田晴人編『日本の情報通信産業史—2つの世界から1つの世界へ—』	平山勉	〃		
5019 - 112	638号 【特集】 戦時動員体制下 の記録	特集にあたって	榎一江	2011.12
		覚書：戦時労働動員体制下の「別天地」—在日朝鮮人朴麟植氏の証言を辿って	戸塚秀夫	〃
		資料紹介：アジア太平洋戦争期における陸軍工員の人事記録—工員名簿、工員手帳、共済組合員原票、留守名簿の制度的概略と戦後の残存状況	近藤貴明	〃
		資料紹介：『新版・きけわだつみのこえ (第一集)』改訂案とその典拠	岡田裕之	〃
		フランスにおける社会的排除と文化政策—社会的包摂における芸術・文化の意義	天野敏昭	〃
		■書評と紹介 近藤 正基著『現代ドイツ福祉国家の政治経済学—』	安井宏樹	〃
		■書評と紹介 西成田 豊著『退職金の一四〇年—』	武田晴人	〃
■書評と紹介 田沼肇全活動・著作集編集委員会編『田沼肇全活動 付・田沼肇著作集 [DVD]—』	早川征一郎	〃		
5019 - 113	639号 【特集】 オバマ政権下の 社会労働法制	オバマ政権下で社会労働法制はどう変動したのか—特集にあたって	永野秀雄	2012.1
		オバマ政権の労働組合政策	沼田雅之	〃
		オバマ政権の差別規制政策	藤本茂	〃
		オバマ政権の社会保険制度改革—医療保険制度改革及び失業保険給付の延長に焦点をあてて	根岸忠	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		理系高学歴人材の人事労務管理－博士卒の処遇プレミアム	平尾智隆	〃
		「戦後革新勢力」をいかに歴史化するか－五十嵐仁編『「戦後革新勢力」の奔流』	道場親信	〃
		■書評と紹介 村申仁三郎著『自然保護と戦後日本の国立公園－統「国立公園成立史の研究」』	西澤栄一郎	〃
		■書評と紹介 Simone R. Kirpal著『Labour-Market Flexibility and Individual Careers－A Comparative Study』	橋口三千代	〃
5019 - 114	640号	障害（者）法（Disability Law）をめぐる諸問題－特集にあたって	菊池馨実	2012.2
	【特集】	障害者法（Disability Law）をめぐる憲法的一思考	尾形健	〃
	障害（者）法	インクルージョンと分離をめぐる一考察－障害者教育法におけるLRE（より制限のない環境）の原則について	今川奈緒	〃
	(Disability Law) を	日本における障害者法学の成立可能性－障害者基本法を素材とした試論	新田秀樹	〃
	めぐる諸問題（1）	コミュニティ・ユニオニズムの多様性－日本と韓国コミュニティ・ユニオニズムの比較	李ミン珍	〃
		フリーター経験者を正社員として中途採用している企業の特性	安田宏樹	〃
		■書評と紹介 小峯敦編著『経済思想のなかの貧困・福祉－近現代の日英における「経世済民」論』	古家弘幸	〃
		■書評と紹介 R. S. コーワン著／高橋雄造訳『お母さんは忙しくなるばかり－家事労働とテクノロジーの社会史』	榎一江	〃
5019 - 115	641号	原発事故で痛感させられた社会科学者の社会的責任－何をどう分析するか	石田雄	2012.3
	【特集】	日本における脱原発時代の開幕	吉岡斉	〃
	障害（者）法	英国平等法における障害差別禁止と日本への示唆	川島聡	〃
	(Disability Law) を	日本における公的成年後見制度の導入について－ドイツの運用スキームを参考に	上山泰	〃
	めぐる諸問題（2）	障害（者）法学の観点からみた成年後見制度－公的サービスとしての「意志決定支援」	菅富美枝	〃
		■書評と紹介 桜美林大学産業研究所編著『ハッ場ダムと地域社会－大規模公共事業による地域社会の疲弊』	朝井志歩	〃
		■書評と紹介 上野 千鶴子著『ケアの社会学－当事者主権の福祉社会へ』	篠原佑美	〃
		■資料紹介 『土地と自由』再刊1号（1946年2月15日）の所蔵確認によせて	横関至	〃
5019 - 116	642号	コミュニティ・ユニオンの10年	福井 祐介	2012.4
	【特集】	コミュニティ・ユニオンによる「派遣切り」に対する取り組み	児島 真爾	〃
	コミュニティ・ユニオン	メンタルヘルスに関わる労働相談をめぐる困難	橋口昌治	〃
	研究の新たな動向	個人加盟組合が行う労働相談が組合加盟に結びつく要因についての数量分析	久世律子・鈴木玲	〃
		■書評と紹介 佐久間孝正著『在日コリアンと在英アイリッシュ－オールドカマーと市民としての権利』	宮島喬	〃
		■書評と紹介 石河康国著『労農派マルクス主義－理論・ひと・歴史』	下山房雄	〃
5019 - 117	643号	「2011年のILO総会について」	長谷川真一	2012.5
	【特集】	「第100回ILO総会での社会的保護・社会保障をめぐる議論」	山端浩	〃
	第24回国際労働問題	「政府の立場から」	清野晃平	〃
	シンポジウム持続可能な	「労働者の立場から」	中島圭子	〃
	社会保障をめざして	「使用者の立場から」	森田清隆	〃
	ILO戦略と日本の課題	「グローバリズムと地域主義の狭間で－日本の役割」	武川正吾	〃
		「参考資料」 社会的保護（社会保障）に関する反復討議についての決議		〃
		ニュージーランドにおけるエンジニアと労働市場	田中秀樹	〃
		■書評と紹介 仁平 典宏著『「ボランティア」の誕生と終焉－贈与のパラドックスの知識社会学』	山岡義典	〃
		■書評と紹介 横関 到著『農民運動指導者の戦中・戦後－杉山元治郎・平野力三と労農派』	山本公徳	〃
		■書評と紹介 樋口 篤三遺稿集『革命家・労働運動家列伝』（第1巻）、『オルグ・労働運動・戦略』（第2巻）	五十嵐仁	〃
5019 - 118	644号	なぜジョブ・カード制度に着目するのか－特集にあたって	筒井美紀	2012.6
	【特集】	公共職業訓練とジョブ・カード政策－制度の特徴と意義および2010年度までの進捗状況	堀有喜衣	〃
	2000年代における	中小企業の教育訓練と雇用管理に対するジョブ・カード制度の影響－導入企業・受講生に対する調査で得られた知見と考察	櫻井純理	〃
	公共職業能力開発	「事業仕分け」とその後のジョブ・カード制度－公共職業訓練制度のゆくえ	筒井美紀	〃
		介護供給システムからみた介護職員の雇用環境への影響－社会福祉法人の施設運営をとおして	宮本恭子	〃
		■書評と紹介 呉学殊著『労使関係のフロンティア－労働組合の羅針盤』	熊沢誠	〃
		■書評と紹介 米澤 且著『労働統合型社会的企業の可能性－障害者就労における社会的包摂へのアプローチ』	山田雅徳	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5019 - 119	645号	フランス移民労働者政策の転換—2006年移民法と「選別的移民」の含意	宮島喬	2012.7
		日本の園芸農業と外国人労働者	佐藤忍	〃
		社会福祉分野における当事者主体概念を検証する	西村愛	〃
		東京における“イースト・ロンドン”	<small>高野 貞三郎/山本 謙次・解説</small>	〃
		■書評と紹介 鎌田とし子著『「貧困」の社会学—労働者階級の状態』	宮本みち子	〃
		■書評と紹介 熊本一規著『脱原発の経済学』	大平佳男	〃
		■書評と紹介 垣田裕介著『地方都市のホームレス—実態と支援策』	畠中亨	〃
5019 - 120	646号 【特集】 子どもの貧困と 労働 (1)	特集にあたって	原伸子	2012.8
		児童労働撤廃に向けての国際政策と国際運動—開発アプローチに焦点を当てて	堀内光子	〃
		近代日本の児童労働—年少労働者の保護と供給をめぐる	榎一江	〃
		子どもと戦争—日系オランダ人の口述史	<small>江沢あや/川崎純子訳</small>	〃
		1940年代後半における社会党と共産党の共闘—社共共闘により社会党員知事が誕生した長野県を事例として	横関至	〃
		『テンブ・エコノミー』（エリン・ハットン著） —アメリカ労働者派遣産業のマーケティング戦略と「雇用」・「雇用主」概念の転換	関口定一	〃
5019 - 121	647・648号 【特集】 大震災・原発事故と 日本社会	ポスト3.11（災間期）の社会運動と地域社会の再生	中澤秀雄	2012.9・10
		原発推進派、反対派の労働組合は何を主張したのか—組合イデオロギーと「世界観」の分析	鈴木玲	〃
		現代社会と移民・マイノリティ研究—日本とヨーロッパを比較して	宮島喬	〃
		肥満が雇用・賃金・生産性に与える影響と体重差別	古郡頼子	〃
		中国の企業間関係に関する一考察—「継続性確保」を中心に	禹宗ウオン	〃
		育児休業取得をめぐる父親の意識とその変化	齋藤早苗	〃
		■書評と紹介 鶴光太郎他著『非正規雇用改革—日本の働き方をいかに変えるか』	白井邦彦	〃
■書評と紹介 小林 節子著『次世代に語りつぐ生体解剖の記憶—元軍医湯浅謙さんの戦後』	松尾純子	〃		
5019 - 122	649号 【特集】 子どもの貧困と 労働 (2)	イギリスにおける養育費政策の変容—子どもの貧困対策との関連から	下夷美幸	2012.11
		ドイツにおける子どもの貧困	齋藤純子	〃
		福祉国家の変容と子どもの貧困—労働のフレキシビリティとケア	原伸子	〃
		戦間期宮城県における方面委員の特性—履歴書・内申書の分析	小笠原浩太	〃
		■書評と紹介 大谷 禎之介著『マルクスのアソシエーション論—未来社会は資本主義のなかに見える』	有井行夫	〃
		■書評と紹介 島田 顕著『ソ連・コミンテルンとスペイン内戦』	栗原浩英	〃
		■書評と紹介 大山 博著『福祉政策の形成と国家の役割—プラクティカルな政策を目指して』	宮内良樹	〃
5019 - 123	650号 【特集】 女性労働の 高度成長期	女性労働の高度成長期—問題提起と調査事例の位置づけ	<small>木本喜美子・中澤高志</small>	2012.12
		戦後織物業における女性労働と労務管理	勝保達也	〃
		織物女工の就業と家族経験—近代家族規範の検討	木本喜美子	〃
		ニット製造業の地域労働市場と女性のライフコース—職歴を中心に	中澤高志	〃
		■証言：戦後社会党史・総評史 構造改革論再考—加藤宣幸氏に聞く（上）		〃
		■書評と紹介 Yoonkyong Lee, 『Militants or Partisans: Labor Unions and Democratic Politics in Korea and Taiwan.』	鈴木玲	〃
		■書評と紹介 アンドルー・ゴードン著/二村一夫訳『日本労使関係史 1853 - 2010』	金子良事	〃
5019 - 124	651号 【特集】 1950年前後の 学生運動— 北大・東大・早大	特集にあたって	手島繁一	2013.1
		1950年前後の北大の学生運動—その位置と意義を再考する	中野徹三	〃
		イールズ闘争とレッド・バージ反対闘争—1950年前後の学生運動、回顧と分析	岡田裕之	〃
		『早稲田1950年』における大衆的學生運動の記録	<small>吉田嘉清・高橋彦博</small>	〃
		両親の時間使用変化に関する日韓比較研究	尹子英・安周永	〃
		■書評と紹介 神吉知郁子著『最低賃金と最低生活保障の法規制』	富江直子	〃
		■書評と紹介 Jane Humphries, 『Childhood and Child Labour in the British Industrial Revolution』	原伸子	〃
■書評と紹介 福澤直樹著『ドイツ社会保険史—社会国家の形成と展開—』	栢田大知彦	〃		
5019 - 125	652号	特集にあたって	相田利雄	2013.2

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
	【特集】 繊維中小企業に おける技能継承と 人材育成—岡山県 倉敷市を中心に	繊維産業政策の変遷—繊維工業から繊維・ファッション産業へ	高橋啓	〃
		産地型産業集積における中小企業の自立可能性—繊維産業における商業資本の役割変化をめぐって	永田瞬	〃
		繊維産業における技能継承と人材育成をめぐる課題	江頭説子	〃
		日本における縫製業と外国人労働者	佐藤忍	〃
		■証言：戦後社会党史・総評史 構造改革論再考—加藤宣幸氏に聞く（下）		〃
	■書評と紹介 遠藤公嗣編著『個人加盟ユニオンと労働NPO—排除された労働者の権利擁護』	呉学殊	〃	
	■書評と紹介 大門正克編著『新生活運動と日本の戦後—敗戦から1970年代』	榎一江	〃	
5 019 - 126	653号 【特集】 1950年前後の 関西の学生運動 —京大	平和を追い求めた青春—「総合原爆展」と「京大天皇事件」	小畑哲雄	2013.3
		青春の悔恨と学問への道	望田幸男	〃
		移住家事・ケア労働者とその非可視性—2000年代後半のイタリアの事例から	宮崎理枝	〃
		■証言：日本の社会運動 戦時抵抗と政治犯の釈放—岩田英一氏に聞く（1）	吉田健二	〃
		■書評と紹介 鈴木和雄著『接客サービスの労働過程論』	富沢賢治	〃
		■書評と紹介 清水敦・櫻井毅編著『ヴィクトリア時代におけるフェミニズムの勃興と経済学』	久場嬉子	〃
		■書評と紹介 松本善明著『謀略—再び歴史の舞台に登場する松川事件』	五十嵐仁	〃
5 019 - 127	654号	特集にあたって	鈴木玲	2013.4
		2012年のILO総会について	上岡恵子	〃
		若者の雇用危機	マシュー・コニャック	〃
		政府の立場から	朝比奈祥子	〃
		労働者の立場から	安永貴夫	〃
		使用者の立場から	松井博志	〃
		若者の雇用問題	本田由紀	〃
		参考資料 若年雇用の危機：行動の要請（第101回ILO総会決議）		〃
		■書評と紹介 Andrew Gordon, Fabricating Consumers	鈴木淳	〃
		■書評と紹介 樋口直人編『日本のエスニック・ビジネス』	宮島喬	〃
■書評と紹介 岡村東洋光ほか編著『英国福祉ボランティアリズムの起源』	坪洋一	〃		
5 019 - 128	655号 【特集】 社会運動として のコモンズ	特集にあたって	竹田茂夫	2013.5
		多様な主体が協働・連携する阿蘇草原再生の取り組み	高橋佳孝	〃
		現代的コモンズに内在する排除性の問題	菅豊	〃
		危機のコモンズの可能性	竹田茂夫	〃
		出産退職を抑制する労使コミュニケーション	池田心豪	〃
		■証言：日本の社会運動 戦時抵抗と政治犯の釈放—岩田英一氏に聞く（2）	吉田健二	〃
		■書評と紹介 高岡裕之著『総力戦体制と「福祉国家」』	有馬学	〃
■書評と紹介 市野川容孝著『ヒューマニティーズ 社会学』	兼子論	〃		
5 019 - 129	656号	資本主義世界経済の転換と地域政策の課題	玉野和志	2013.6
		臨時工「組織化」の目的	中山嘉	〃
		草創期社会党の人民戦線を巡る党内論争記録	梅澤昇平	〃
		■証言：日本の社会運動 戦時抵抗と政治犯の釈放—岩田英一氏に聞く（3・完）	吉田健二	〃
		■書評と紹介 松尾孝一著『ホワイトカラー労働市場と学歴』	永野仁	〃
		■書評と紹介 遠藤公嗣・筒井美紀・山崎憲著『暮らしを取りもどす—社会正義のアメリカ』	柏木宏	〃
		■書評と紹介 大和田茂著『社会運動と文芸雑誌』	立本絃之	〃
5 019 - 130	657号 【特集】 社会的排除と 子どもの貧困	特集にあたって	原伸子	2013.7
		外国人の子どもにみる三重の剥奪状態	宮島喬	〃
		「非行少年」たちの家族関係と社会的排除	岩田美香	〃
		虐待事例に表れる障害と貧困	藤原里佐	〃

## I. 谷山文庫

## 第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■証言：戦後社会党史・総評史 私からみた構造改革（上）—初岡昌一郎氏に聞く		〃
		■書評と紹介 村上潔著『主婦と労働のもつれ』	堅田香緒里	〃
		■書評と紹介 上林陽治著『非正規公務員』	前浦穂高	〃
5019 - 131	658号	欧米諸国の労働組合と原子力問題	本田宏	2013.8
	【特集】	3.11事故以降の放射線防護	Paul Jobin/山崎節一訳	〃
	原発と社会運動	福島原発事故と被ばく労働問題	飯田勝泰	〃
	／労働運動	中野徹三「北大のイールズ闘争」論に反論する	梁田政方	〃
		■証言：戦後社会党史・総評史 私からみた構造改革（下）—初岡昌一郎氏に聞く		〃
		■書評と紹介 横田伸子著『韓国の都市下層と労働者』	丁怡煥/李相旭訳	〃
		■書評と紹介 吉田健三著『アメリカの年金システム』	畠中亨	〃
5019 - 132	659・660号	特集にあたって	原伸子	2013.9・10
	【特集】	ポスト3.11の包摂型社会ビジョン	宮本太郎	〃
	大原社会問題研究所	市民目線の復興まちづくり	神谷秀美	〃
	シンポジウム～	日本の戦後成長と『フクシマ』	開沼博	〃
	ポスト震災を生き	コメント	杉田敦	〃
	抜く	コメント	保井美樹	〃
		雇用格差～その現在と未来	中野麻美	〃
		■書評と紹介 Akira Suzuki (ed.) 『Cross-National Comparisons of Social Movement Unionism』	李秉勲/李相旭訳	〃
		■書評と紹介 安周永著『日韓企業主義的雇用政策の分岐』	濱口桂一郎	〃
		■書評と紹介 岡野八代著『フェミニズムの政治学』	松尾純子	〃
		■資料紹介 大原初期資料	立本紘之	〃
5019 - 133	661号	水俣学の視点からみた福島原発事故と津波による環境汚染	中地重晴	2013.11
	【特集】	専門知、社会的公開対話、政治的決定	壽福真美	〃
	原発と社会運動	「原発お断り」地点と反原発運動	平林祐子	〃
	／労働運動（2）	■証言：戦後社会党史・総評史 飛鳥田一雄さんとともに歩んだ社会党—船橋成幸氏に聞く（上）		〃
		■書評と紹介 野村達朗著『アメリカ労働民衆の歴史』	篠田徹	〃
		■書評と紹介 伊藤大一著『非正規雇用と労働運動』	猿田正機	〃
		■書評と紹介 松田忍著『系統農会と近代日本』	野本京子	〃
5019 - 134	662号	特集にあたって	粕谷信次	2013.12
	【特集】	カタストロフィの現局面	川上忠雄	〃
	社会的企業の	持続可能な社会・経済システムを求めて	粕谷信次	〃
	現代的意義	社会的企業の展開	柏井宏之	〃
		ハイブリッド組織としての社会的企業・再考	米澤旦	〃
		■証言：戦後社会党史・総評史 飛鳥田一雄さんとともに歩んだ社会党—船橋成幸氏に聞く（下）		〃
		■書評と紹介 李崙碩著『高齢者雇用政策の日韓比較』	馬欣欣	〃
		■書評と紹介 大田英昭著『日本社会民主主義の形成』	山泉進	〃
		■書評と紹介 Miura Mari, Welfare through Work	新川敏光	〃
5019 - 135	663号	最低賃金と生活保護の逆転現象発生メカニズムとその効果	桜井啓太	2014.1
		公的医療保険における出産給付	大西香世	〃
		ニューカマー外国人の子どもの教育を受ける権利と就学義務	山本文子・高田洋一・高田洋一・山本文子	〃
		■書評と紹介 玉井清著『第1回普選と選挙ポスター』	梅田 俊英	〃
		■書評と紹介 玉井金五著『共助の稜線』	金子良事	〃
		Melanie Simms, Jane Holgate, Edmund Heery, Union Voices: Tactics and Tensions in UK Organizing	鈴木玲	〃
5019 - 136	664号	産業報国会研究の可能性	榎一江	2014.2

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
	産業報国会の 研究に向けて	産業報国会とドイツ労働戦線の比較に関する準備的考察	栢田大知彦	〃
		戦時経済史研究と産業報国会	平山勉	〃
		工場委員会から産業報国会へ	金子良事	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 日本社会党における佐々木更三派の歴史——曾我祐次氏に聞く（上）		〃
		■書評と紹介 岸政彦著『同化と他者化—戦後沖縄の本土就職者たち』	加瀬和俊	〃
		■書評と紹介 石井クンツ昌子著『「育メン」現象の社会学』	武石恵美子	〃
		■書評と紹介 小倉一哉著『「正社員」の研究』	久本 憲夫	〃
5 019 - 137	665号	特集にあたって	西澤栄一郎	2014.3
	【特集】	[口述] モビリア仮設住宅のこれまでとこれから	千田勝治	〃
	震災復興の現状と	被災地域における農産物直売所を核にした地域再生の展望	平口嘉典	〃
	課題—陸前高田	地域の資源を活かした震災復興の構想	両角和夫	〃
	の場合	■証言：戦後社会党・総評史 日本社会党における佐々木更三派の歴史——曾我祐次氏に聞く（下）		〃
		■書評と紹介 乗杉澄夫・岡橋充明著『ホワイトカラーの仕事とキャリア』	佐藤厚	〃
		■書評と紹介 永田祐著『住民と創る地域包括ケアシステム』	中園桐代	〃
		■書評と紹介 遠藤公嗣編著『同一価値労働同一賃金をめざす職務評価』	五十嵐仁	〃
5 019 - 138	666号	特集にあたって	荒井容子	2014.4
	【特集】	資料と活動の交流拠点だった「都立多摩社会教育会館 市民活動サービスコーナー」	山家利子	〃
	市民活動・市民運動と	資料保管運動から資料センター開設まで	江頭晃子	〃
	市民活動資料、市民活動	“市民活動資料”に、人びとの息遣いを訊く	杉山弘	〃
	資料センター	誰が、どんな思いで、誰に残すのか	安東つとむ	〃
		「市民活動資料」センターと市民運動を支える社会教育	荒井容子	〃
		「市民活動資料」の保存・調査・活用をめぐる	中村修	〃
		市民活動資料—保存と公開の全国的状況—	平川千宏	〃
		■書評と紹介 松村文人編著『企業の枠を超えた賃金交渉』	早川征一郎	〃
		■書評と紹介 藤内和公著『ドイツの雇用調整』	名古道功	〃
5 019 - 139	667号	高齢者雇用と社会的保護	上岡恵子	2014.5
	【特集】	2013年のILO総会について	松本真紀子	〃
	第26回国際労働	政府の立場から	寺村健作	〃
	問題シンポジウム	労働者の立場から	城尾英紀	〃
		使用者の立場から	間利子晃一	〃
		人口高齢化と雇用，社会保障—日本の課題	奥西好夫	〃
		参考資料 新たな人口動態変化における雇用と社会的保護に関する決議（第102回ILO総会決議）		〃
		中国における先進国型の「専業主婦」と女性就業にかんする実証分析	石塚浩美	〃
		■書評と紹介 三富紀敬著『介護者の健康と医療機関』	太田貞司	〃
		■書評と紹介 青木聡子著『ドイツにおける原子力施設反対運動の展開』	本田宏	〃
		■書評と紹介 笹谷春美著『フィンランドの高齢者ケア』	橋本美由紀	〃
5 019 - 140	668号	特集によせて	愼蒼宇	2014.6
	関東大震災90年—	一国史を超えて—関東大震災における朝鮮人虐殺研究の50年	姜徳相	〃
	朝鮮人虐殺をめぐる	関東大震災をめぐる教育現場の歴史修正主義	鈴木敏夫	〃
	研究・運動の	横浜における関東大震災時朝鮮人虐殺	山本すみ子	〃
	歴史と現在（1）	労働雑誌『人と人』編輯発行人・宮澤説成について	梅田俊英	〃
		エル・ライブラリー所蔵の近江絹糸人権争議資料		〃
		■書評と紹介 近藤潤三著『ドイツ移民問題の現代史』	森廣正	〃
		■書評と紹介 ニクラス・ルーマン著/カイ・ウーヴェ・ヘルマン編/徳安彰訳 『プロテクト—システム理論と社会運動』	兼子諭	〃



I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5019 - 141	669号 【特集】 関東大震災90年 朝鮮人虐殺をめぐる 研究・運動の 歴史と現在(2)	関東大震災時の「レイピスト神話」と朝鮮人虐殺	金富子	2014.7
		関東大震災時の朝鮮人虐殺と地域における追悼・調査の活動と現状	田中正敬	〃
		ドイツにおける福祉と就労の融合	福田直人	〃
		■書評と紹介 Jocelyn Elise Crowley, Mothers Unite ! :Organizing for Workplace Flexibility and the Transformation of Family Life	萩原久美子	〃
		■書評と紹介 永江雅和著『食糧供出制度の研究—食糧危機下の農地改革』	横関至	〃
■書評と紹介 兼田麗子著『大原孫三郎—善意と戦略の経営者』	榎一江	〃		
5019 - 142	670号	「国際歴史探偵」の20年—世界の歴史資料館から	加藤哲郎	2014.8
		地方における中間派労働組合の動向	中村正明	〃
		大原社会問題研究所研究員・高田慎吾の子ども問題研究とその展開	稲井智義	〃
		■書評と紹介 Stephen J. Silvia, Holding The Shop Together:German Industrial Relations in the Postwar Era	石塚史樹	〃
		■書評と紹介 井上恒男著『英国所得保障政策の潮流—就労を軸とした改革の動向』	伊藤善典	〃
■書評と紹介 高橋弘幸著『企業競争力と人材技能—三井物産創業半世紀の経営分析』	金子良事	〃		
5019 - 143	671・672号 【特集】 社会運動としての コモンズ(2) コモンズ生成の動態	特集にあたって	竹田茂夫	2014.9・10
		社会運動としての森林ボランティア活動	山本信次	〃
		漁場利用という日本の伝統的コモンズの現局面	濱田武士	〃
		危機のコモンズの動態—初期水俣病闘争の考察	竹田茂夫	〃
		大卒者の早期離職とその後の転職先	小林隆・藤岡啓・佐藤一博・田所文	〃
		ドイツ金属労組IG Metallの派遣労働問題への対応	高田正一・榎田隆・高田啓・金子良事	〃
		■書評と紹介 佐藤千登勢著『アメリカ型福祉国家の形成』	本田浩邦	〃
		■書評と紹介 金子良事著『日本の賃金を歴史から考える』	赤堀正成	〃
■書評と紹介 尾西康充著『小林多喜二の思想と文学』	立本紘之	〃		
5019 - 144	673号 【特集】 シンポジウム：市民活動 記録管理の現状と 歴史的課題— 日本と韓国の 事例を中心に	特集にあたって	金慶南	2014.11
		東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービス・コーナー資料の移管経緯と「市民活動資料・情報センターをつくる会」の活動	杉山弘	〃
		水俣学関連資料管理・活用の現状と課題	花田昌宣	〃
		韓国の民主化運動、過去の継承、そして聖公会民主化運動資料館	チョ・ヒヨン	〃
		戦後日本における分散型の医療供給体制の再生産	大西 香世	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 回顧 私と日本社会党—伊藤茂氏に聞く(上)		〃
		■書評と紹介 橋本理著『非営利組織研究の基本視角』	米澤旦	〃
■書評と紹介 菅野和夫, 仁田道夫, 佐藤岩夫, 水町勇一郎編著『労働審判制度の利用者調査』	鶴飼良昭	〃		
■書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所/菅富美枝編著『成年後見制度の新たなグランド・デザイン』	大曾根寛	〃		
5019 - 145	674号 【特集】 環境政策史	特集にあたって	西澤栄一郎	2014.12
		環境政策史—その挑戦と課題—	喜多川進	〃
		高度成長期日本の公害防止技術開発促進政策の枠組み	伊藤康	〃
		環境法化する開発法—「エコ統治性の法的地平」研究序説	及川敬貴・武田淳	〃
		生活保護制度における住宅扶助の歴史的検討	岩永理恵	〃
		■証言：戦後社会党・総評史回顧 私と日本社会党—伊藤茂氏に聞く(下)		〃
		■書評と紹介 高橋祐吉著『現代日本における労働世界の構図』	下山房雄	〃
■書評と紹介 ロベール・カステル著/前川真行訳『社会問題の変容—賃金労働の年代記』	鈴木宗徳	〃		
■書評と紹介 東海林智著『15歳からの労働組合入門』	上西充子	〃		
5019 - 146	675号 【特集】 新日本窒素の 労使関係・ 労働運動の諸相(1)	特集にあたって	鈴木玲	2015.1
		戦後労使関係史における安賃闘争の位置	富田義典	〃
		戦後日本の化学工業の変容, チッソと労働組合	磯谷明德	〃
		新日本窒素労働組合と水俣病患者支援団体, 患者組織との連携関係の分析	鈴木玲	〃
地域包括ケアシステムの存続と自治の機能	高間沙織	〃		

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■証言：戦後社会党・総評史 時代に生きた社会党と村山連立政権——園田原三氏に聞く（上）		〃
		■書評と紹介 樋口直人著『日本型排外主義—在特会・外国人参政権・東アジア地政学』	岡本雅享	〃
		■書評と紹介 Jiyeoun Song, Inequality in the Workplace: Labor Market Reform in Japan and Korea	安周永	〃
		■書評と紹介 石田光男／寺井基博編著『労働時間の決定—時間管理の実態分析』	鷺谷徹	〃
5019 - 147	676号	新日本窒素における工職身分撤廃過程と労使関係	花田昌宣	2015.2
	【特集】	水俣病問題に向き合う労働組合の成立と労使関係史上の意義	石井まこと	〃
	新日本窒素の	■証言：戦後社会党・総評史 時代に生きた社会党と村山連立政権——園田原三氏に聞く（下）		〃
	労使関係・	私が見てきた社会党の防衛政策 ——前田哲男氏に聞く（上）		〃
	労働運動の諸相 (2)	外村大著『朝鮮人強制連行』について	李相旭	〃
		■書評と紹介 長田華子著『バングラデシュの工業化とジェンダー』	川崎暁子	〃
		■書評と紹介 山井和則著『政治はどこまで社会保障を変えられるのか』	畠中亨	〃
5019 - 148	677号	特集にあたって	鈴木玲	2015.3
	【特集】	首都圏青年ユニオンの地域を重視した活動	河添誠	〃
	日本と韓国の	労働NPOの活動がどのように労働問題を社会問題に変えたのか	今野晴貴	〃
	若年労働者問題、	世代別労働組合の発生と社会運動的労働組合運動の新たな可能性	チョン・ジュンヨン	〃
	若年労働者の	韓国のアルバイト労働者の運動：要求とビジョン	グ・キョヒョン	〃
	社会・労働運動	■論文 1920年代の炭鉱業における技術革新と労働力構成	佐川享平	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 私が見てきた社会党の防衛政策 ——前田哲男氏に聞く（下）		〃
		■書評と紹介 伊藤セツ著『クララ・ツェトキーン』	高田実	〃
		■書評と紹介 赤堀正成著『戦後民主主義と労働運動』	五十嵐仁	〃
		■書評と紹介 大沢真理著『生活保障のガバナンス』	小宮山洋子	〃
5019 - 149	678号	特集にあたって	鈴木玲	2015.4
		2014年のILO総会について	上岡恵子	〃
		第6議題の議論について	上村俊一	〃
		政府の立場から	堀場絵里香	〃
		労働者の立場から	向澤茂	〃
		使用者の立場から	松井博志	〃
		労働法制の展開と課題	野川忍	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 総評運動と社会党と私——富塚三夫氏に聞く（上）		〃
		■書評と紹介 中島醸著『アメリカ国家像の再構成』	佐藤千登勢	〃
		■書評と紹介 土屋敦著『はじき出された子どもたち』	沢山美果子	〃
		■書評と紹介 エリック・ブライシュ著／明戸隆浩他訳『ヘイトスピーチ』	榎透	〃
5019 - 150	679号	特集にあたって	金慶南	2015.5
	【特集】	境界地域におけるローカリティ交流空間の形成と変形	金慶南	〃
	境界地域における	戦後日本における台湾人華僑の苦悩	何義麟	〃
	「国民統合過程」と	近代日本の「文化統合」と周辺地域	高江洲昌哉	〃
	人々の意識—	メコン地域における越境的な開発・環境問題と地域アイデンティティ	渋谷淳一	〃
	—日本とアジア	コメント1	羽場久美子	〃
	を中心に	コメント2	宮本正明	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 総評運動と社会党と私——富塚三夫氏に聞く（下）		〃
		■書評と紹介 大森真紀著『世紀転換期の女性労働』	小倉祥子	〃
		■書評と紹介 早川征一郎・松尾孝一著『国・地方自治体の非正規職員』	下井康史	〃
		■書評と紹介 佐藤幹夫著『ルボ高齢者ケア』	橋本美由紀	〃
5019 - 151	680号	特集にあたって	藤原千沙	2015.6

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
	【特集】 フェミニズム運動 と反貧困運動	社会運動と政治 「子どもの貧困」とフェミニズム 女性学・女性問題における貧困・階層問題 コメント 社会運動とジェンダー コメント フェミニズムと子育て支援 高齢者の居場所作り事業に関する検討 ■証言：戦後社会党・総評史 日本社会党青年部再考—高見圭司氏に聞く（上） ■書評と紹介 榎一江・小野塚知二編著『労務管理の生成と終焉』 ■書評と紹介 翁貞瓊・禹宗・著『中国民営企業の雇用関係と企業間関係』 ■書評と紹介 Jeffrey C. Alexander and Bernadette N. Jaworsky, OBAMA POWER	湯浅誠 湯澤直美 伊田久美子 申琪榮 大森順子  山下充 丸川知雄 兼子論	” ” ” ” ” ” ” ” ”
5019 - 152	681号 【特集】 若者労働問題 の新局面 (1)	特集にあたって 「ブラック企業問題」の沿革と展望 いわゆる「ブラック企業」と採用・内定・入社をめぐる問題 ブラックバイト問題について 近代経済成長は労働にとって何だったのか？ 大原社研所蔵軍法会議記録と検察庁保管軍法会議記録 ■書評と紹介 伍賀借子著『敗戦直後を切り拓いた働く女性たち』 ■書評と紹介 小野達也著『対話的行為を基礎とした地域福祉の実践』 ■書評と紹介 アンリニー・フツゼル・ボツグジニル下著、坂口緑・中野聡子・岡邦道代訳『タイム・バインド《時間の板挟み状態》働く母親のワークライフバランス』	上西充子 今野晴貴 嶋崎量 大内裕和 尾高煌之助 廣畑研二 谷合佳代子 田村哲樹 原伸子	2015.7 ” ” ” ” ” ” ” ” ”
5019 - 153	682号 【特集】 若者労働問題 の新局面 (2)	N0と言えない若者への支援と労働法教育の取り組み 若年労働問題への教育現場の対応 若年労働の変容と住まいの貧困 「ブラック企業」の普遍性と多面性 ドイツにおける商学士の雇用の開始 ■証言：戦後社会党・総評史 日本社会党青年部再考—高見圭司氏に聞く（下） ■書評と紹介 中川スミ著／青柳和身・森岡孝二編 『資本主義と女性労働』 ■書評と紹介 禹宗・連合総研編『現場力の再構築へ』	川村遼平 児美川孝一郎 稲葉剛 鈴木玲 石塚史樹  石田好江 山垣真浩	2015.8 ” ” ” ” ” ” ” ”
5019 - 154	683・684号 【特集】 新自由主義と ジェンダー平等 政治学の視点から	特集にあたって マルクスの隠れ家の背後へ—資本主義の概念の拡張のために 新自由主義の時代におけるフェミニズム、市民社会 ■証言：戦後社会党・総評史 社会党生活32年 社会民主主義とマルクス主義の狭間で—横山泰治氏に聞く 太田薫氏と労働運動を語る—塚田義彦氏に聞く ■書評と紹介 長谷川裕編著『格差社会における家族の生活・子育て・教育と新たな困難』 ■書評と紹介 山岸敬和著『アメリカ医療制度の政治史』 ■書評と紹介 塚原久美著『中絶技術とリプロダクティヴ・ライツ』 ■書評と紹介 佐藤成基著『国家の社会学』 ■書評と紹介 毛塚勝利編『事業再構築における労働法の役割』	原伸子  衛藤幹子  吉中季子 大原利夫 山根純佳 金子良事 米津孝司	2015.9・10 ” ” ” ” ” ” ” ”
5019 - 155	685号 【特集】 社会保障・ 税一体改革後の 医療・年金・ 子育て支援政策	特集にあたって 「社会保障・税一体改革」後の医療政策 2014年公的年金財政検証と低所得・低年金者対策 人口政策・保育労働力政策としての子育て支援 ■証言：戦後社会党・総評史 総評解散後の労働組合と社会党—橋村良夫氏に聞く（上） ■書評と紹介 宮本光晴著『日本の企業統治と雇用制度のゆくえ』 ■書評と紹介 筒井美紀・櫻井純理・本田由紀編著『就労支援を問い直す』	中澤秀一・畠中亨 松田亮三 畠中亨 垣内国光  佐藤厚 佐口和郎	2015.11 ” ” ” ” ” ” ”

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 黒川伊織著『帝国に抗する社会運動』	立本紘之	〃
5019 - 156	686号	特集にあたって	愼蒼宇	2015.12
	【特集】	朝鮮人強制動員研究の現況と課題	樋口雄一	〃
	朝鮮人強制連行	朝鮮人軍人軍属の強制動員数	竹内康人	〃
	研究の成果と課題—	韓国における「朝鮮人強制動員」問題の現状と課題	韓恵仁・南相九	〃
	「戦後70年」の現在	1920年代の移民問題をめぐる日本国際連盟協会と国際労働事務局	寺田晋	〃
	から考える(2)	■証言：戦後社会党・総評史 総評解散後の労働組合と社会党—橋村良夫氏に聞く(下)		〃
		■書評と紹介 谷口明丈編『現場主義の国際比較』	沢井実	〃
		■書評と紹介 友澤悠季著『「問い」としての公害』	平林祐子	〃
		■書評と紹介 Hwa-Jen Liu, Leverage of the Weak	鈴木玲	〃
5019 - 157	687号	長崎と朝鮮人強制連行 —調査研究の成果と課題	高實康稔	2016.1
	【特集】	北海道における朝鮮人強制連行・強制労働と企業「慰安所」	金優綺	〃
	朝鮮人強制連行	朝鮮人強制連行研究における「労働力不足説」「労働力充足説」の検討	鄭祐宗	〃
	研究の成果と課題—	マニラのホームレス—仕事・貧困・家族	青木秀男	〃
	「戦後70年」の現在	■書評と紹介 立花雄一著『隠蔽された女米騒動の真相』	石坂悦男	〃
	から考える(2)	■書評と紹介 宮島喬著『外国人の子どもの教育』	池上重弘	〃
5019 - 158	688号	特集にあたって	小野塚知二・榎一江	2016.1
	【特集】	戦後における資格給の形成	禹宗ウオン	〃
	職業能力の関主観的	フランスにおける教育・資格・職業能力の連関	松田紀子	〃
	構造(1)—訓練、	三菱電機における職能資格制度の形成	鈴木誠	〃
	資格、報酬	コメント—フランス職業教育研究の立場から	清水克洋	〃
		プロフェッショナル労働市場の分析枠組みの検討	西村健	〃
		■書評と紹介 園部雅久著『再魔術化する都市の社会学』	橋本健二	〃
		■書評と紹介 中澤高志著『労働の経済地理学』	久木元美琴	〃
5019 - 159	689号	工業高校卒業者のキャリアと職務能力認識	市原博	2016.3
	【特集】	アメリカ企業におけるホワイトカラーのサラリー制度	関口定一	〃
	職業能力の関主観的	産業社会成り立期イギリスにおける能力差をめぐる言説と入職・選抜・処遇	小野塚知二	〃
	構造(2)—入職、	コメント—能力観についての諸研究を概観する	木下順	〃
	選抜、処遇	■証言：戦後社会党・総評史 回想の総評運動 1960~70年代を中心に—谷 正水氏に聞く		〃
		■書評と紹介 佐藤千登勢著『アメリカの福祉改革とジェンダー』	小林勇人	〃
		■書評と紹介 関口すみ子著『管野スガ再考—婦人矯風会から大逆事件へ』	梅森直之	〃
		■書評と紹介 ジェームズ・C. スコット著/佐藤仁監訳『ゾミア—脱国家の世界史』	渋谷淳一	〃
5019 - 160	690号	特集にあたって	鈴木玲	2016.3
	【特集】	2015年のILO総会について	上岡恵子	〃
	第28回国際	政府の立場から	左藤倫子	〃
	労働問題	労働者の立場から	川野英樹	〃
	シンポジウム	使用者の立場から	野村良寿	〃
	中小企業と	途上国における中小企業の課題と日本の国際協力	上田隆文	〃
	ディーセントで	雇用創出における中小企業の役割と直面する課題	黒瀬直宏	〃
	生産的な雇用創出	外国人家事労働者はなぜ増加したのか—先進国の多国間比較分析	伊藤善典	〃
		■書評と紹介 渋谷光美著『家庭奉仕員・ホームヘルパーの現代史』	森川美絵	〃
		■書評と紹介 喜多川進著『環境政策史論』	小野一	〃
		■書評と紹介 安藤正人・久保亨・吉田裕編『歴史学が問う 公文書の管理と情報公開』	清水善仁	〃
5019 - 161	691号	特集にあたって	鈴木玲	2016.3

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
	【特集】 労働資料協 第30回総会記念 シボジウム 社会労働法制資料 活用の可能性 と未来	労働資料協30年を振り返る	谷合佳代子	〃
		私の労働研究とアーカイブズ	熊沢誠	〃
		パネルディスカッション		〃
		■資料紹介 占領期日本社会党機関紙集成	立本紘之	〃
		■書評と紹介 上林千恵子著『外国人労働者受け入れと日本社会』	佐藤忍	〃
		■書評と紹介 居神浩編著『ノンエリートのためのキャリア教育論』	有田五郎	〃
5 019 - 162	692号 【特集】 労働科学 研究所 旧蔵資料	特集にあたって	榎一江	2016.6
		労働科学研究所旧蔵森戸文庫	小池聖一	〃
		藤本文庫（洋書・和書）の移管と利用可能性	兵頭淳史	〃
		藤本文庫（和書）、藤本ノート資料群と逐次刊行物について	菅沼隆・田中聡一郎	〃
		藤本文庫（和書）の搬出について	石井まこと	〃
		労働科学研究所戦前期資料群	金子良事	〃
		暉峻義等関係資料について	伊東林蔵・榎一江	〃
		■書評と紹介 岩佐卓也著『現代ドイツの労働協約』	大重光太郎	〃
		■書評と紹介 L. ドイヨル・I. ゴフ著/馬嶋裕・山森亮監訳/ 遠藤環・神島裕子訳『必要の理論』	後藤玲子	〃
		■書評と紹介 ワレン・ファレル著/久米泰介訳『男性権力の神話』	田中俊之	〃
		■書評と紹介 野村正實著『学歴主義と労働社会』	森直人	〃
		■書評と紹介 長沼建一郎著『個人年金保険の研究』	畠中亨	〃
5 019 - 163	693号 【特集】 戦後の労働戦線と日教組	特集にあたって——日教組の歴史を検証する	広田照幸	2016.7
		総評結成前の労働戦線における日教組の立ち位置の選択について	広田照幸・古賀義・宇内一文	〃
		1973年春闘における七項目合意・五項目「念書」と日教組	末富芳	〃
		1980年代における労戦再編の動きと日教組	金子良事・広田照幸	〃
		■書評と紹介 西成田豊著『近代日本の労務供給請負業』	加瀬和俊	〃
		■書評と紹介 藤野裕子著『都市と暴動の民衆史——東京・1905-1923年』	中筋直哉	〃
5 019 - 164	694号 【特集】 環境アーカイブズ所蔵資料の整理と活用	特集にあたって	清水善仁	2016.8
		日本のアーカイブズ界における「環境アーカイブズ」の位置	清水善仁	〃
		環境・原発問題をめぐる映像資料整理の意義と課題	西田善行	〃
		アーカイブズにおけるミニコミ資料利用の展開の可能性	野口由里子	〃
		■書評と紹介 杉本弘幸著『近代日本の都市社会政策とマイノリティ——歴史都市の社会史』	中嶋久人	〃
5 019 - 165	695・696号 【特集】 新自由主義とジェンダー平等— 経済学とケアの視点から	■書評と紹介 長島伶央著『アメリカとグアム——植民地主義、レイシズム、先住民』	松島泰勝	〃
		■書評と紹介 相良匡俊著『社会運動の人びと—転換期パリに生きる』	中野隆生	〃
		社会的投資アプローチとジェンダー平等	藤原千沙	2016.9
		2000年代における女性労働とケアの現状	原伸子	〃
		フォーマルなケア供給体制の変化とケア労働への影響	蓑輪明子	〃
		■講演 現実には研究より奇なり—貧困とセーフティネットを追いかけて	小尾晴美	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 戦後革新と基地・公害・住民運動—仲井 富氏に聞く	岩田正美	〃
		■書評と紹介 下夷美幸著『養育費政策の源流』	水野紀子	〃
		■書評と紹介 武田尚子著『20世紀イギリスの都市労働者と生活』	赤木誠	〃
		■書評と紹介 杉田真衣著『高卒女性の12年』	大澤真平	〃
		■書評と紹介 大槻奈巳著『職務格差』	阿部正浩	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■書評と紹介 ジョン・ジェラルド・ラギー著／東澤靖訳『正しいビジネス』	菅原絵美	〃
019 - 166	697号 【特集】 「1968年」と社会運動の高揚(1)	特集にあたって	鈴木玲	2016.11
		1960年代と「ベ平連」	松井隆志	〃
		いやがらせの思想——「ベトナムに平和を！」神戸行動委員会の経験	黒川伊織	〃
		全共闘とはなんだったのか——東大闘争における参加者の解釈と意味づけに着目して	小杉亮子	〃
		■書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所 原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困』	佐久間孝正	〃
		■書評と紹介 鈴木均著『サッチャーと日産英国工場』	増田壽男	〃
		■書評と紹介 山口覚著『集団就職とは何であったか』	中澤高志	〃
019 - 167	698号 【特集】 「1968年」と社会運動の	「1968」大学闘争が問うたもの 一日大闘争の事例に即して	荒川章二	2016.12
		組織労働者の反戦運動と経済闘争 —10・21ベトナム反戦スト前史における総評・全印総連の動向を中心に	兵頭淳史	〃
		日本の健康保険における出産給付の起源と給付方法の変遷—1927年から1945年の制度変化に注目して	小暮かおり	〃
		証言：戦後社会党・総評史社会主義政党的確立をめざして——上野建一氏に聞く		〃
		■書評と紹介 原伸子著『ジェンダーの政治経済学』	石田好江	〃
		■書評と紹介 高橋恭子著『戦前病院社会事業史』	山村りつ	〃
		■書評と紹介 岡本勝著『アメリカにおけるタバコ戦争の軌跡』	山口一臣	〃
5 019 - 168	699号 【特集】 非正規雇用と生活保障	特集にあたって	野依智子	2017. 1
		非正規雇用の歴史と賃金思想	濱口桂一郎	〃
		「家族賃金」観念の形成と歴史的意義	野依智子	〃
		非正規職シングル女性が直面する困難と社会的支援ニーズ	植野ルナ	〃
		フレーミングの別の顔と経路依存性—1960年代の日本人による日韓会談反対運動を事例として	大畑裕嗣	〃
		■書評と紹介 岩田正美著『社会福祉のトポス』	岩崎晋也	〃
		■書評と紹介 飯嶋和紀著『労働組合職場組織の交渉力』	中村圭介	〃
		■書評と紹介 Richard S. Newman, Love Canal : A Toxic History from Colonial Times to the Present	鈴木 玲	〃
5 019 - 169	700号 【特集】 安倍政権下の社会経済政策——労働と生活に与える影響	安倍政権の経済政策	竹田茂夫	2017.2
		安倍政権の外国人政策	明石純一	〃
		安倍政権下の労働法制・雇用政策	浜村彰	〃
		安倍政権下における子どもの貧困対策	鳩咲子	〃
		安倍政権の女性政策	堀江孝司	〃
		安倍政権と安保法制・憲法・外交・基地問題	五十嵐仁	〃
		■調査報告 戦前期日本の映画労働組合の変遷	中村正明	〃
		■書評と紹介 武田公子著『ドイツ・ハルツ改革における政府間行財政関係 — 地域雇用政策の可能性』	森周子	〃
		■書評と紹介 Bastiaan van Apeidoorn and Nanna de Graaf 'American Grand Strategy and Corporate Elite Networks : The Open Door since the end of the Cold War.	高瀬久直	〃
		■書評と紹介 早川征一郎・盛永雅則・松尾孝一編著『公務員の賃金—現状と問題点』	鬼丸朋子	〃
5 019 - 170	701号 【特集】 労働時間の不安定化と家族生活への影響	特集にあたって	鈴木玲	2017.3
		ジェンダーと労働時間の編成	エレーン・マクドナルド/BAF 東京	〃
		24時間週7日経済におけるワーク・ライフ・バランス	大石亜希子	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 私が歩んできた社会保障運動—総評・中央社保協体感の記録公文昭夫氏に聞く	-	〃
		■書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所／相田利雄編『サステイナブルな地域と経済の構想』	三村 聡	〃
		■書評と紹介 大平佳男著『日本の再生可能エネルギー政策の経済分析』	藤岡明房	〃
5 019 - 171	702号 【特集】第29回国際労働問題シンポジウム	特集にあたって	藤原千沙	2017.4
		2016年のILO総会について	田口晶子	〃
		政府の立場から	勝田智明	〃

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
	ホンフム グローバル ・サブライ チェーン における労 働の課題	労働者の立場から	須田孝	〃
		使用者の立場から	松井博志	〃
		世界の縫製工場バングラデシュで何が起きているか	長田華子	〃
		労働CSRと競争力強化	後藤健太	〃
		パネルディスカッション	参考資料	〃
		■書評と紹介 ナイラ・カビール著／遠藤環・青山和佳・韓載香訳 『選択するカーバングラデシュ人女性によるロンドンとダッカの労働市場における 意思決定』	平野恵子	〃
		森千香子著『排除と抵抗の郊外——フランス〈移民〉集住地域の形成と変容』	鈴木宗徳	〃
5 019 - 172	703号 【特集】女 性の管理職 への「昇 進」(1)	特集にあたって	藤原千沙	2017.5
		労働研究における女性の昇進問題	武石恵美子	〃
		女性管理職の数値目標の達成に向けた取り組みと組織変化	駒川智子	〃
		女性管理職の仕事とキャリア——デンマーク調査からの考察	石黒久仁子	〃
		日本社会党・総評時代の日本共産党の労働組合運動の政策と活動について— —1970～80年代の総評との関係を中心に 梁田政方氏に聞く	-	〃
		■書評と紹介 村申仁三郎著『高度成長期日本の国立公園』	大平佳男	〃
		■書評と紹介 大谷禎之介著『マルクスの利子生み資本論』	大友敏明	〃
5 019 - 173	704号 【特集】 女性の管理 職への「昇 進」(2)	係長への昇進におけるジェンダーと職場属性	村尾祐美子	2017.6
		女性の昇進をめぐる意識とマネジメント	金井郁	〃
		「昇進させない企業」をなくすための法的戦略	相澤美智子	〃
		非正規化が正社員の人材育成に与える影響——A大学職員の事例分析	南雲賢典・平井光世・梅崎修	〃
		大原社会問題研究所所蔵・洋新聞—欧米社会主義政党・労働組合等の機関紙群について	伊東林蔵	〃
5 019 - 174	705号 【特集】 企業パター ナリズムの 国際比較	特集にあたって	石原俊時	2017.7
		信頼、忠誠および交渉	〃	〃
		フランス企業パテルナリズムの歴史的位	齊藤佳史	〃
		近代日本のパターナリズムと福利施設	榎一江	〃
		■特別寄稿 画家・新海覚雄と戦後社会運動——《真の独立を闘いとうろ》までの道	武居利史	〃
		戦前期日本における経営理念——武藤山治とバーナードにおける組織観の分析を通して	中川宗人	〃
		竹中恵美子著作集(全7巻)を読む	北明美	〃
5 019 - 175	706号 【特集】 近現代の対 馬における 朝鮮人と現 地社会	特集にあたって	愼蒼宇	2017.8
		明治期の対馬と朝鮮半島	檜皮瑞樹	〃
		植民地期の対馬における朝鮮人	愼蒼宇	〃
		日本敗戦以降の対馬をめぐる朝鮮・韓国人の在留・移動	宮本正明	〃
		対馬在留朝鮮人の「解放五年史」	鄭榮桓	〃
		証言 解放前後の対馬における朝鮮人の生活と運動——辛正寿氏に聞く	〃	〃
		■書評と紹介 金成垣著『福祉国家の日韓比較』	真殿仁美	〃
■書評と紹介 有田伸著『就業機会と報酬格差の社会学』	横田伸子	〃		
5 019 - 176	707・708号 【特集】 労働者文化 運動論	特集にあたって	篠田徹	2017.9・10
		1950年代うたごえ運動論	河西秀哉	〃
		1950年代の労働映画と労働組合文化運動	鈴木不二一	〃
		総評論序説-1950年代労働者文化論への視角をてがかりに	篠田徹	〃
		グローバル・レイバー・ヒストリーの成果と課題-訳者解説-/木下順	マルセン・ワファン・デア・リンゲン	〃
		失業対策史研究を振り返る	加瀬和俊	〃
		■書評と紹介 辻智子著『繊維女性労働者の生活記録運動』	松本忍	〃
■書評と紹介 堀林巧著『就業機会と報酬格差の社会学』	小川有美	〃		

I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5019 - 177	709号 【特集】 公害資料館 を考える	■書評と紹介 Aya Ezawa, Single Mothers in Contemporary Japan	田宮遊子	〃
		特集にあたって	清水善仁	2017.11
		公害資料館ネットワークの意義と未来	林美帆	〃
		歴史学の立場から見る公害資料館の意義と課題	小田康徳	〃
		公害経験の継承における課題と可能性	清水万由子	〃
		■論文 平和擁護運動における討論集会の形成 (1952-1953年)	長島祐基	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 政権と社会党——浜谷惇氏に聞く	〃	〃
5019 - 178	710号 【特集】 モンドラゴン労働者 協同組合の 現在	■書評と紹介 山下麻衣著『看護婦の歴史——寄り添う専門職の誕生』	早川佐知子	〃
		■書評と紹介 筒井正夫著『巨大企業と地域社会——富士紡績会社と静岡県小山町』	金子良事	〃
		特集にあたって	西澤栄一郎	2017.12
		モンドラゴンの現在と研究の到達点	石塚秀雄	〃
		モンドラゴン協同組合が果たす地域での役割	坂内久	〃
		モンドラゴンに学ぶわが国農協改革のあり方	両角和夫	〃
		■論文 戦後型学歴身分制の形成——三菱電機の1948年身分制度改訂	鈴木誠	〃
5019 - 179	711号 【特集】 子どもの貧 困を問う— —日本とEU の経験から	■書評と紹介 栗倉大輔著『日本茶の近代史』	落合功	〃
		■書評と紹介 Adam Tompkins, Ghostworkers and Greens	鈴木玲	〃
		特集にあたって	原伸子	2018.1
		EUにおける「子どもの貧困」問題	メアリ・テイラー/阪井千波	〃
		日本におけるシングルマザー、福祉改革、貧困	江沢あや /鈴木 玲	〃
		日本における「子どもの貧困」問題	藤原千沙	〃
		■論文 「名誉の負傷者」とは何か——「癩兵」にみる名誉性の保持と抑圧	松田英里	〃
5019 - 180	712号 【特集】 近年の労働 市場法の動 向と課題	■資料紹介 原社会問題研究所蔵『水平新聞』について——修復・保存・公開	中村美香	〃
		■書評と紹介 本田一成著『チェーンストアの労使関係』	浅見和彦	〃
		■書評と紹介 イアン・ゲートリー著/黒川由美訳『通勤の社会史』	佐藤伴近	〃
		特集にあたって	浜村彰	2018.2
		労働市場法の現状と課題	沼田雅之	〃
		職業安定法の改正と公的職業紹介をめぐる課題	河村直樹	〃
		労働者派遣法の立法・改正論議から見た労働者派遣の基本的意義づけと政策原理	浜村彰	〃
5019 - 181	713号 【特集】 環境運動と 労働運動の 接点—歴史 的、国際比 較の視角か ら	2015年労働者派遣法の批判的検討	中野麻美	〃
		■証言：戦後社会党・総評史 社会党本部書記から中央執行委員を振り返って——海野明昇氏に聞く	〃	〃
		■書評と紹介 首藤若菜著『グローバル化のなかの労使関係』	鈴木不二一	〃
		■書評と紹介 道場親信著『下丸子文化集団とその時代』	大串潤児	〃
		特集にあたって	鈴木玲	2018.3
		公害反対運動と労働運動の接点をめぐる試論	友澤悠季	〃
		北九州の「青空がほしい」公害反対運動における主婦の活動	アンナ・シュワーズ/鈴木玲	〃
5019 - 181	713号	オーストラリアの労働組合による環境保護運動	長峰登記夫	〃
		アメリカの労働運動の環境問題への取り組み、環境運動との連携	鈴木玲	〃
		■書評と紹介 下野恵子著『「所得増税」の経済分析』	古市将人	〃
		■書評と紹介 猿田正機著『トヨタ研究からみえてくる福祉国家スウェーデンの社会政策』	石原俊時	〃



I. 谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
5019 - 182	714号 【特集】 第30回国際労働問題シンポジウム 仕事の未来とグリーン・ジョブ	特集にあたって	藤原千沙	2018.4
		2017年のILO総会について	田口晶子	〃
		IL0の取組み	佐々木聡	〃
		政府の取組み	吉村紀一郎	〃
		労働者側の取組み	小熊栄	〃
		地域再生のためのグリーン・ジョブ	西城戸誠	〃
		環境規制と地球環境問題について	伊藤康	〃
		■書評と紹介 新倉貴仁著『「能率」の共同体』	佐藤成基	〃
5019 - 183	715号 【特集】 経営者団体と労使関係	特集にあたって	高瀬久直	2018.5
		安倍政権の社会・労働政策と経営者団体	菊池信輝	〃
		春闘と経営者団体	高瀬久直	〃
		ドイツの使用者団体と労働協約システム	岩佐卓也	〃
		戦時期の女性労働者動員政策と産業報国会——赤松常子の思想に着目して	堀川祐里	〃
		■書評と紹介 西澤栄一郎・喜多川進編著『環境政策史——なぜいま歴史がら問うのか』	小堀聡	〃
		■書評と紹介 上村泰裕著『福祉のアジア——国際比較から政策構想へ』	相馬直子	〃
		5019 - 184	716号 【特集】 福祉の契約主義と労働・家族・ジェンダー	特集にあたって
公正な条件と公正な結果？——ニューレイバー、福祉の契約主義および社会的態度に関する考察	ダニエル・セージ/藤田理恵訳			〃
イギリスにおける福祉改革と家族——「困難を抱えた家族プログラム (Troubled Families Programme)」とジェンダー	原伸子			〃
もう一つの日本社会党史——党中央本部書記局員としてマルクス・レーニン主義の党を追求 細川 正氏に聞く	桜井政成			〃
■書評と紹介 米澤 且 著『社会的企業への新しい見方——社会政策のなかのサードセクター』	辻由希			〃
■書評と紹介 衛藤幹子 著『政治学の批判的構想——ジェンダーからの接近』	筒井淳也			〃
■書評と紹介 安藤 究 著『祖父母であること——戦後日本の人口・家族変動のなかで』	筒井淳也			〃
5019 - 185	717号 【特集】 生活保護における自立支援の成果と今後の課題——福祉事務所の現場から			特集にあたって
		「自立支援プログラム」で福祉事務所現場はどう変わったか	大川昭博	〃
		生活保護革命の途上にて——“かけがえのない私” の獲得と生きる場を求めて	櫛部武俊	〃
		生活保護自立支援プログラム導入時の議論と到達点——三つの自立が生活保護行政に与えた影響	池谷秀登	〃
		ナチ体制下の中間層をいかに捉えるか——柳澤治著『ナチス・ドイツと中間層』をめぐると読書ノート	芝健介	〃
		■書評と紹介 ガイ・スタンディング著/岡野内正監訳『プレカリアート』	鈴木宗徳	〃
		■書評と紹介 ガイ・スタンディング著/池村千秋訳『ベーシックインカムへの道』	鈴木宗徳	〃
		■書評と紹介 スチュアート・ロー著/祐成保志訳『イギリスはいかにして持ち家社会となったか』	平山洋介	〃
5019 - 186	718号 【特集】 労働者派遣法改正と派遣労働の現状	特集にあたって	大槻奈巳	2018.8
		派遣労働者の選別機能としての「直接雇用」転換と労働者の選択	江頭説子	〃
		派遣労働における旧「専門業務」の現状と課題	鶴沢由美子	〃
		派遣労働の現状と課題——派遣労働者として働く人たちの自己概念に注目して	田口久美子	〃
		■論文 「名誉の負傷者」とは何か——「癩兵」にみる名誉性の保持と抑圧	田中洋子	〃
		■書評と紹介 Aya Hirata Kimura, Radiation Brain Moms and Citizen Scientists :The Gender Politics of Food Contamination after Fukushima	平林祐子	〃
		■書評と紹介 水沢不二夫著『検閲と発禁——近代日本の言論統制』	奥武則	〃
		5019 - 187	719・720号 【特集】 貧困と世論	メディアと生活保護に関する意識——ソーシャルメディアに焦点をあてて
再分配反対論者はどのような人々か？——日本における貧困観	小田川華子			〃
新聞報道に見る生活保護への関心——財政問題化と政治問題化	堀江孝司			〃
報道者が考える“貧困ジャーナリズム”の21世紀の課題	水島宏明			〃
イギリスの大衆メディアにおける貧困報道——連立政権下の福祉改革への影響を中心に	鈴木宗徳			〃

I.谷山文庫

第5部 寄贈図書・大学等

管理NO.	書籍名	論文名	著者	発行日
		■講演 経済史研究と資料	武田晴人	〃
		■論文 社会福祉法人の内部留保に関する一考察——高齢者・障害者・児童の主要3分野の横断的分析	國見真理子	〃
		■書評と紹介 村上 裕著『中国・社会主義市場経済と国有企業の研究——鉱工業部門についての考察』	柴田努	〃
		■書評と紹介 渡辺尚志編『アーカイブズの現在・未来・可能性を考える——歴史研究と歴史教育の現場から』	清水善仁	〃
5019 - 188	721号	特集にあたって	禹宗杭	2018.11
	【特集】 賃金の決め方・上がり方——生活の視点から	歩合給における生活の検討とジェンダー——生命保険営業職を事例に	金井郁	〃
		外資系企業における昇給査定と賃金の上がり方——生命保険会社の事例をもとに	垣塚淳	〃
		アジアの賃金——「学歴別・熟練度別賃金」	禹宗杭	〃
		1950年前後における先任権の日本への移植の試み——ドッジ・ライン期の整理解雇に関する一考察	吉田誠	〃
		■書評と紹介：木下光生著『貧困と自己責任の近世日本史』	松沢裕作	〃
		■書評と紹介：松本伊智朗編『「子どもの貧困」を問いなおす』	丹波史紀	〃
		月例研究会	根岸海馬	jm